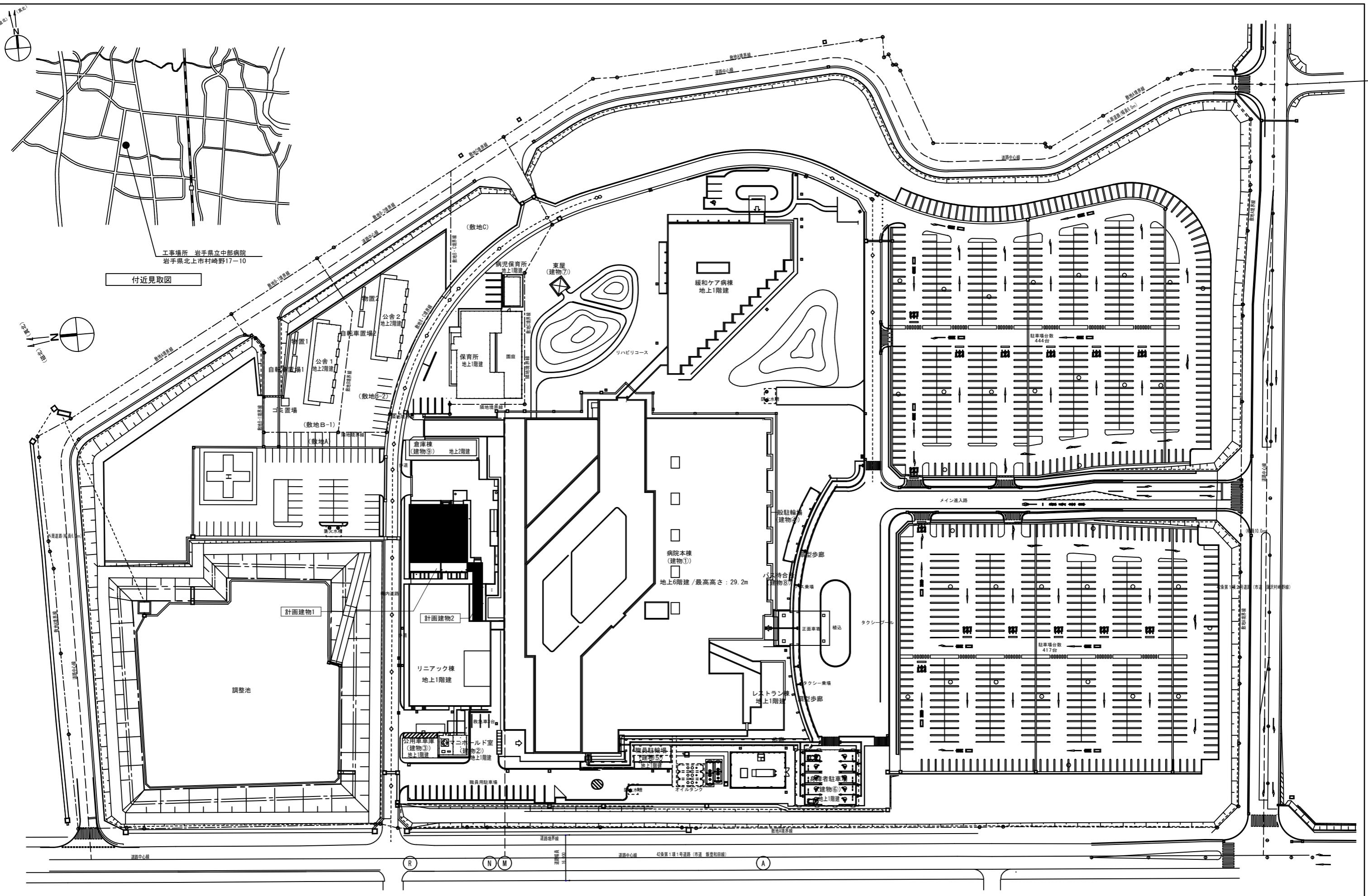


● 12. プレート	フラッシュプレートの材質は下記とする プレート材質 使用箇所 ● 新金属製 機械室 ● 合成樹脂製 居室 ・ ステンレス製									
● 13. ケーブルラック	ケーブルラックの材質は下記とする ● ZM Z35 AL ZA ・ カバー (一般用 歩行用) 適用範囲は図示による									
● 14. 耐震措置	耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外すべて、国土交通省国土技術政策研究所、独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」及び建設大臣官房官営部監修「官房施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」による (1) 機器、電気配管等 設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に、 設計用水平震度を乗じたもの、設計用船底震度は設計用船底震度を乗じたものとする 設計用水平震度 (K_H) = $Z \cdot K_S$ (K_S : 設計用標準震度、 Z : 地域係数) 設計用船底震度 (K_H) = $1/2 \cdot K_H$ 地盤係数 ※ 1.0 • 0.9 • 0.8 • 0.7									
建築設備機器の設計用標準震度 (K_S)と耐震クラス										
機器の設置階	建築設備機器の耐震クラス		適用階の区分							
	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0			
				中間階	1.5	1.0	0.6			
				地階及び1階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)			
()内の値は、地階及び1階(地表)に設置する水槽の場合に適用する。										
上層階の定義 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階										
中間階の定義 地下階、1階を除く各階で上層階に該当しない階(平屋建ての場合はなし)										
下記、重要機器に●なきものは、一般機器として設計耐震クラスに応じて対策を行う (1)重要機器 ・ 耐震クラスS ・ 耐震クラスA ・ 耐震クラスB ・ 受電設備 ・ 電話交換機 ・ 中央監視装置 ・ 電気配管等 (金属管、金属ダクト、バスケット、ケーブルラック等) (口)一般機器 ・ 耐震クラスS ・ 耐震クラスA ・ 耐震クラスB										
(2)免震建物内に設置する機器の場合、設計用水平震度は耐震クラスBの値とする ただし、設計用船底震度は設計耐震クラスの設計用水平震度に1/2を乗じた値とする (3)配管等の耐震対策は、「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」指針表6.2-1による (4)建物導入部の位変吸収方法は下記による ● 固定による ● 構造による (電力31.32) 想定沈下量 (0.2m以下 0.6m以下 1.0m以下)										
● 15. 停電時期及び工法	電気設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者及び監理者と打ち合わせ、施工計画書を提出し承認を得たうえで作業を行ふものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する									
● 16. 接地極	接地極の材料は下記による 接地の種類 記号 接地抵抗値 接地極 ・ 共同接地 E.A.D 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 共同接地 E.A.C.D 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ A種接地 E.A 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 2組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ B種接地 E.B 30Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 2組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ D種接地 E.D 100Ω以下 • EB(10φ)×1(L=1,500mm) • EP-0.6 • EP-0.9 ・ C種接地 E.C 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 高圧遮雷器 E.H 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 2組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 低圧遮雷器 E.L.L 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 2組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 避雷設備 E.L 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 交換機用 E.T 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 通信用 E.A.T 10Ω以下 • EB(14φ)×3連 - 組 • EP-0.6 • EP-0.9 ・ 测定用 E.O 100Ω以下 • EB(10φ)×1(L=1,500mm) • EP-0.6 • EP-0.9 • E.O 10Ω以下 • EB(10φ)×1(L=1,000mm) • EP-0.6 • EP-0.9									
(1)接地棒EB(14φ)の長さは1,500mm以上とする (2)接地埋設設備の近くに、接地埋設棒を取付けること ただし、接地埋設棒用、マンホール並びにハンドホール用及び外灯用については、不要とする ・建築構造体基礎利用 • 大地抵抗率をWernerの4電極法などにより測定し、成績書・計算書及び測定結果を提出する ・構造体の抵抗値を電極距離などにより測定し、成績書及び判定結果を提出する										
● 17. 電磁遮蔽对策	電磁遮蔽室(シールドルーム)内において、壁・床・天井等のシールド材を切り込み設置する 金属製ボックス及び室内に設置する金属製プレート等は、すべてシールド材に接地し、 さらに外部で接続される金属管等から絶縁すること (室)									
● 18. 放射線防護対策	放射線機器を使用する室の壁にボックス・蓋などを埋め込む場合は、必要な厚みの鉛板を巻きつけ、 放射線防護の処置を行うこと (室)									
● 19. 気密施工	下記の各室に設ける電線管・ボックス・機器等は、他室との空気流入を防止するため、シール材充填及び防塵パッキング等を使用し、気密保持に必要な処理を行うこと (室)									
● 20. 遮音対策	遮音性能を要する部屋の壁にボックスを埋込む場合は、その裏面に遮音シートや鉛板等を巻きつけ、 遮音に必要な処理を行うこと									
● 21. 非破壊調査	壁・床・梁等に対し、はつきり工事を行う場合は、放射線透過検査等により検査をしたうえ、(改修1編-2.11.2)埋設配管及び主筋への損傷、塗装処置等について注意をして行うこと									
22. 工場検査の有無	・ 対象 • 対象外 ・ 受電盤 • 自家発電機 ・ 電灯電源 ・ 動力制御盤 ・ 防災盤 ・ 异降機 ・ 檢査対象機器は監督員の指示による なお、外埠会検査に要する諸費用は、全て受注者の負担とする									
23. 迷走電流調査	※ 行う									
24. エネルギー受託会社等の参入	※ 有									
● 25. 改修工事	(1)改修工事に際して、改修部分現状と設計図書に差異がある場合は、現状を優先し検討を行い監理者の承認を得ること (2)施設を運用しながらの工事の場合は、極力運用に差し支えないよう工程及び工法について検討を行い、監理者の承認を得ること (3)解体撤去工事をする場合は、以下の事項について注意し施工を行うこと ・騒音、振動の極力少ない工法を用いること。騒音振動の発生する施工を行う場合は、事前に施工及び監理者の了解を得ること ・作業曜日、作業時間等について注意し施工を行うこと ・施工及び監理者の指示に従い、工事中の安全について十分に注意を払うこと ・安全管理、養生及び塗装等の飛散防止等について、十分な計画を立て工事を行うこと ・解体及び改修部分と既存部分との取り合いについては、工事前に十分に調査検討し監理者の確認を受け、必要に応じ補修、補強を行うこと ・工事の終、既存部分に対して何らかの損害を与えた場合は速やかに現状を復旧し、施工及び監理員に報告すること									
26. 高調波対策	以下は高調波発生機器に対する、高調波流出電流計算書を作成のうえ、電力会社に提出のこと ・インバータ電動機 • インバータ空調機 • 异降機 • 医用放射線機器 また計算結果が高調波流出電流上限値を超える場合は、監理者と協議のこと									
27. その他	仕様・詳細は設計図による									
● 3. 構内配電線路										
● 1. 電気方式	特別高圧 特別高圧 ・ 三相3線式 66 kV ・ 三相3線式 KV 高圧 ● 三相3線式 66 kV ・ 三相3線式 200 V ・ 三相3線式 400 V ・ 三相4線式 400 V ・ 単相3線式 200 / 100V ・ 単相2線式 100 V									
● 2. 配線路方式	● 地中線式 • 架空線式									
3. 高圧引込開閉器	・ 気中絶縁 ・ 柱上用 ・ 壁面式									
4. 装柱用器材	・ 壁面式 ・ 波紋管式									
5. 地中線管路の材質	特記なき限り高圧線路、幹線管路、または車両等重量物の圧力のかかる場所に設置する管路は、原則としてGL-600m以上とし、舗装がある場合は、舗装下面から-300m以上とする その他のものはGL-300m以上とし、舗装がある場合は、舗装下面から-300m以上とする									
6. 配線路方式	● 地中線式 • 架空線式									
7. 高圧引込開閉器	・ 気中絶縁 ・ 柱上用 ・ 壁面式									
8. 装柱用器材	・ 壁面式 ・ 波紋管式									
9. 地中線管路の材質	特記なき限り電気引込線路、通信幹線管路、または車両等重量物の圧力のかかる場所に設置する管路は、原則としてGL-600m以上とし、舗装がある場合は、舗装下面から-300m以上とする その他のものはGL-300m以上とし、舗装がある場合は、舗装下面から-300m以上とする									
10. 電力料金割引	※ 行う ・ 電力会社 (電力) • 電化廻廊 • 深夜電力 • 著熱調整 • その他 ()									
11. その他	仕様・詳細は設計図による									
● 4. 構内通信線路										
1. 配線路方式	● 地中式 • 架空線式									
2. 機器仕様	原動機 形式 定格出力 ・ 電気式 • 空気式 冷却方式 ・ 水槽循環式 ・ ラジエーター式									
3. 発電機	電気方式 定格出力 三相3線式 V KVA以上									
4. 用途	・ 常用 • 非常用 ・ 常用非常用兼用									

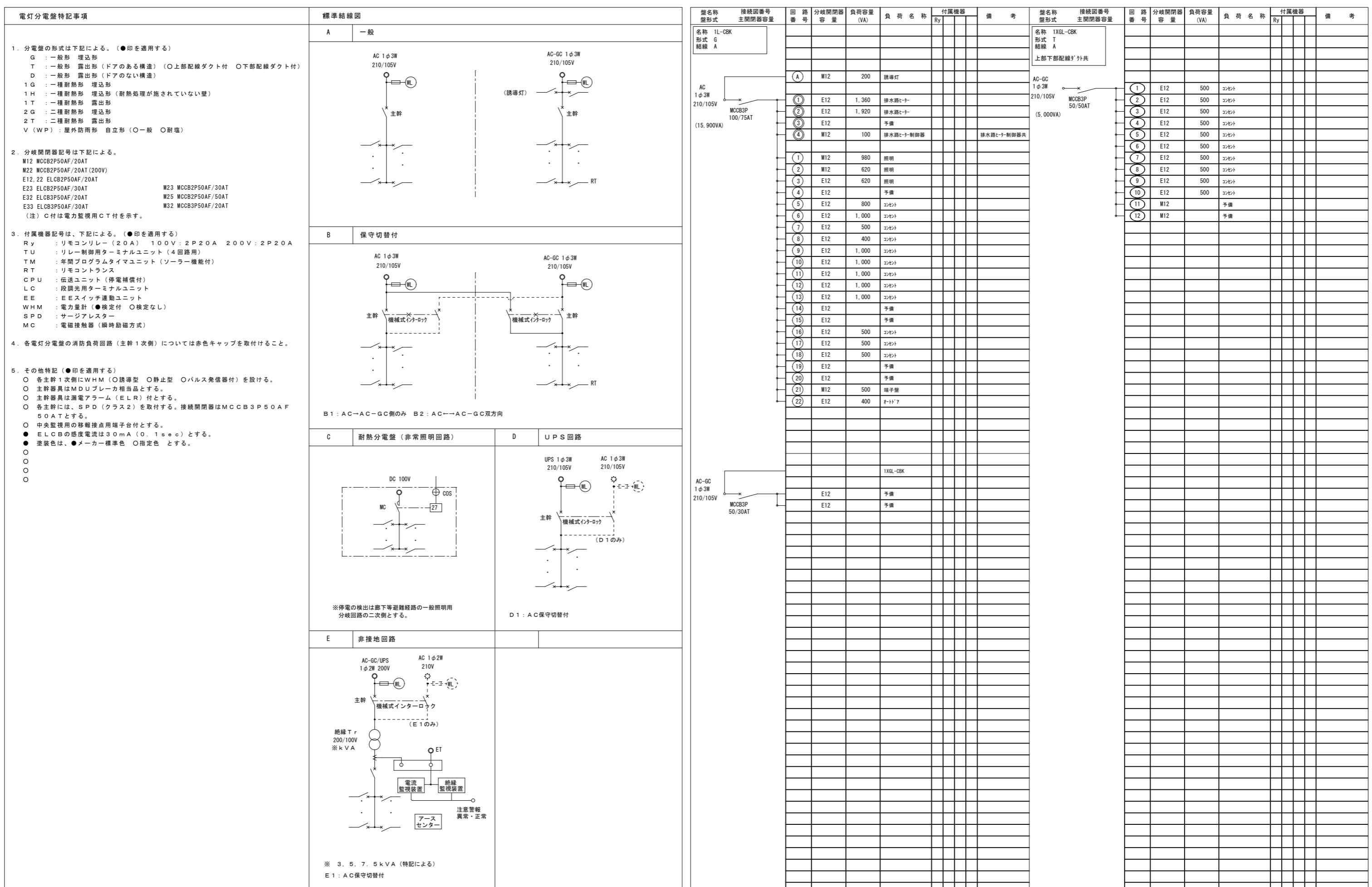
件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	特記仕様書一 ²	電気
縮尺	—	日付 2025/12(令和7年) E102

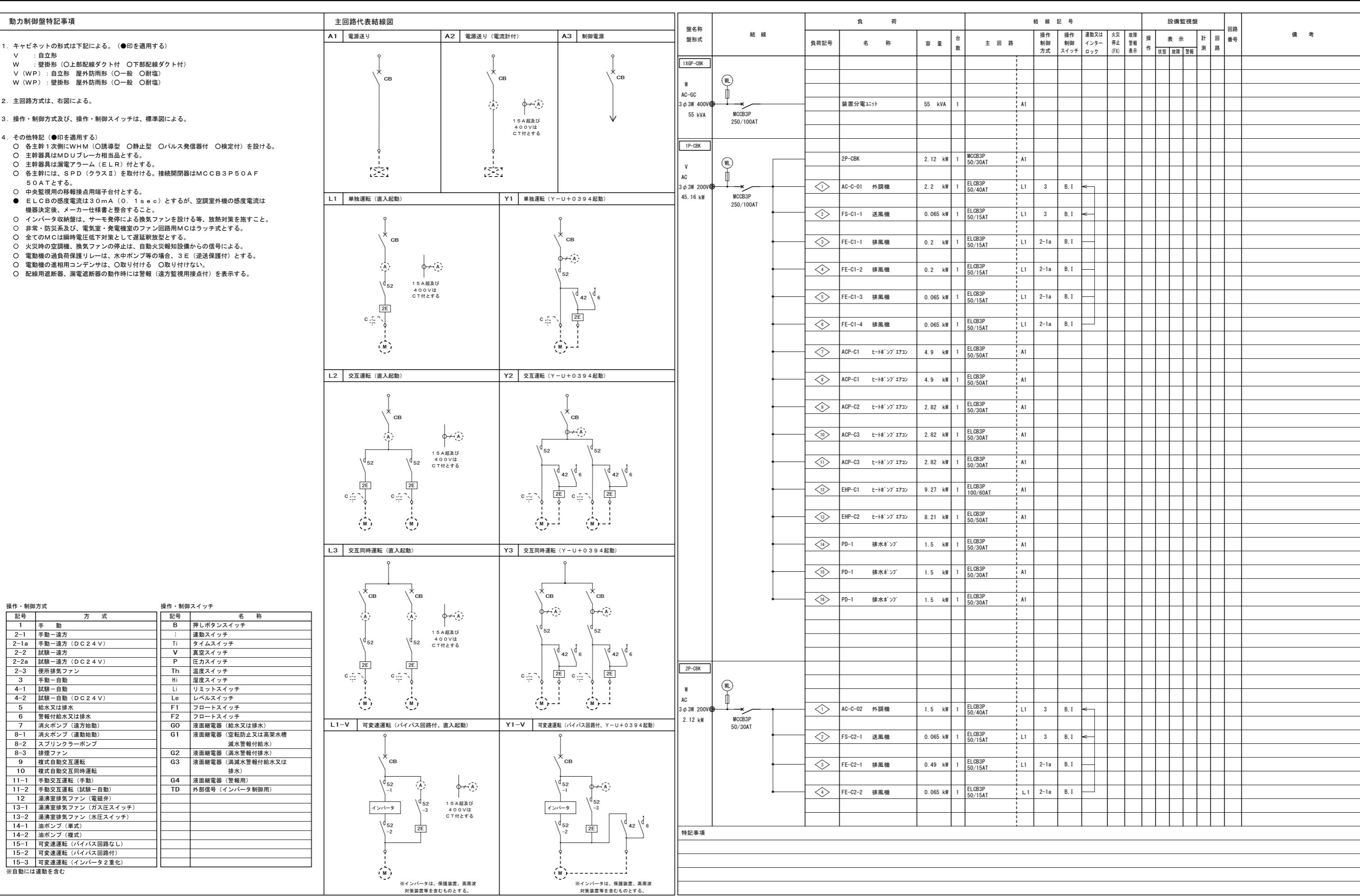
13. 医用接地設備	医用接地センター及び医用接地端子は、JIS C 2808及び設計図に適用するものとする	<p>● 18. 拡声設備</p> <p>1. 増幅器 （拡声主装置）</p> <p>用 途 • 業務放送用 形 式 • キャビネット形 出 力 W</p> <p>回 線 数 回線 付加装置組込 • 業務用回線数 • 非常用放送用 回線 • 非常用回線数 回線</p> <p>2. 遠隔操作装置</p> <p>・ 業務用 ・ 非常用</p> <p>● 3. スピーカー</p> <p>特記なき限り、アッテネーター内蔵とする</p> <p>4. 受信装置</p> <p>・ AM ・ FM ・ CS ・ 有線放送</p> <p>5. 緊急地震放送</p> <p>※ 行う () 機器別途工事 ・ 機器本工事</p> <p>● 6. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p> <p>● 19. 聽導支援設備</p> <p>1. 受付呼出装置</p> <p>・ 卓上形 ・ 壁埋込形 ・ 壁掛形</p> <p>2. 呼出スピーカ</p> <p>・ 天井埋込形 ・ 壁掛形</p> <p>3. 放射線呼出装置</p> <p>用 途 • 待合患者呼出用 接続方式 • 親子式 通話方式 • 同時通話</p> <p>4. 手術部門連絡用</p> <p>接続方式 • 親子式 通話方式 • 同時通話</p> <p>5. 時間外受付用</p> <p>接続方式 • 親子式 通話方式 • 同時通話 付加装置 • カメラ付</p> <p>6. 出入口管理用</p> <p>接続方式 • 親子式 通話方式 • 同時通話 付加装置 • カメラ付</p> <p>● 7. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>	<p>● 23. 火災報知設備</p> <p>1. 受信機</p> <p>・ P型1級 ・ PG型 ・ R型 ・ G型 ● GR型 ・ 総合操作盤</p> <p>回線 回線 回線 回線 回線 AD AD AD</p> <p>2. 副受信機</p> <p>・ P型用 ・ R型用</p> <p>3. 機器収納箱</p> <p>・ 消火栓箱（別途衛生設備工事）組込設置</p> <p>4. 消火栓起動</p> <p>・ 発信機連動（表示灯点滅）</p> <p>5. 監視制御装置</p> <p>・ グラフィックパネル ・ カラーモニタ（CRT・LCD・PDP）()インチ()台 ・ 中央処理装置（単体） ・ メッセージプリンター</p> <p>6. UPS装置</p> <p>・ 別途UPS装置から電源供給 ・ 専用小型UPS装置設置 (相 V kVA)</p> <p>● 7. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p> <p>● 24. 中央監視制御設備</p> <p>1. 監視制御対象</p> <p>・ 受変電設備 ・ 空調設備</p> <p>2. 監視点数</p> <p>()点 (状態監視、操作 (ON-OFF)、計測 各1点とする)</p> <p>3. 監視制御装置</p> <p>・ グラフィックパネル ・ カラーモニタ（CRT・LCD・PDP）()インチ()台 ・ 中央処理装置（1重・2重） ・ リモートステーション（面） ・ デジタルコントローラ（面） ・ ロギングプリンター ・ メッセージプリンター ・ カラーハードコピー</p> <p>4. UPS装置</p> <p>・ 別途UPS装置から電源供給 ・ 専用小型UPS装置設置 (相 V kVA)</p> <p>5. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>
	建築構造体基礎を利用 建築構造体基礎を利用する場合は「2.共通事項 16.接地極」による接地抵抗値測定を行う ・ 鉄筋と電気的に接続できる様ピースを設ける ・ 主鉄筋2条以上と電気的に接続できる様、溶接又はクランプで接続する		
	専用接地極		
	3. 接地線		
	医用コンセント、医用接地端子及び医用接地センターに接続する接地線のサイズは、下記の通りとする ※ 接地幹線 EM-IIE 14 mm²以上 ※ 接地分歧線 EM-IIE 5.5 mm²以上 ※ 専用接地線 EM-IIE mm²以上 上記の接地線を保護する配管は、VE管又はPF管とする 医用接地線は緑色塗りの絶縁電線とする		
	4. 保護接地及び等電位接地处の配線		
	5. 接地抵抗値		
	JIS T 1022に適合するものとし、その接地抵抗値は下記の通りとする ※ 1Ω以下 • 100Ω以下		
	6. 電位測定		
	下記の部屋について、等電位接地处及び保護接地を施した導電性部分と医用接地センター間の電気抵抗を測定し、成績書及び判定結果を提出する • 手術室 • ICU • CCU • PICU • 心臓カテーテル検査室 • 血管造影室 • 保護接地を有する部屋		
	7. 配線方式		
	非接地回路の配線方式は、(PF管 VE管) 内にEM-CE又はCVケーブルによる配線とする		
	8. その他		
	仕様・詳細は設計図による		
14. 雷保護設備	JIS A4201:2003 JIS A4201:1992	<p>● 1. 方式</p> <p>● 2. 保護レベル</p> <p>● 3. 受雷部</p> <p>● 4. 避雷導線</p> <p>● 5. 接地極</p> <p>● 6. 接地抵抗値</p> <p>● 7. その他</p>	<p>● 20. ナースコール設備</p> <p>1. 親機</p> <p>・ 壁掛型 ・ 卓上型 ・ その他機能 (病室カメラ) ・ 観内情報システム連動</p> <p>2. 子機</p> <p>・ 天井埋込形 ・ 壁埋込形 ・ ウォールユニット組込形</p> <p>3. 通話方式</p> <p>・ 同時通話 ・ 交互通話 ・ 同時交互通話兼用</p> <p>4. 携帯端末連動</p> <p>※ する • PHS 台 • スマートフォン 台 • IPフォン 台 • 構内交換設備工事</p> <p>5. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>
	I • II • III • IV		
	突針 • 棟上げ導体 ・ 金属手すりなど（別途建築工事）		
	建築構造体使用 ・ 銅より線		
	JIS A 4201に適合するものとする		
● 15. 構内情報通信網設備	仕様・詳細は設計図による		
	● 1. 工事区分		
	● 2. その他		
● 16. 構内交換設備	● 1. 電話設備の所有	<p>● 1. 配管 ● 配線 () ● 情報ラック ・ 収容箱</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p> <p>● 2. 電話交換機</p> <p>・ 時分割蓄積プログラム方式</p> <p>● 3. 機器構成</p> <p>・ 交換機 ・ 局線中継台 ・ 本配線盤 ● 電源装置</p> <p>● 4. 局線種別</p> <p>・ 光回線 ・ 局線 / 回線以上 ※ アナログ回線 局線 / 回線以上 ・ 回線 / 回線以上</p> <p>● 5. 保安器用接地</p> <p>Ω以下</p> <p>● 6. 電話機</p> <p>● 内線電話機 台 ・ 多機能電話機 台 ・</p> <p>● 7. 電話用受口</p> <p>・ ノズルフレート ● モジュラージャック（プラグ付）</p> <p>● 8. 携帯端末連動</p> <p>※ 行う • PHS 台 ・ スマートフォン 台 • IPフォン 台</p> <p>● 9. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>	<p>● 21. テレビ共同受信設備</p> <p>1. 受信方式</p> <p>・ 空中線 ・ 都市型CATV (HFC FTTC FTTH) ・ 雷波障害補償用CATV</p> <p>2. 給電方式</p> <p>・ 片向式 ・ 双方向式</p> <p>● 3. 同軸ケーブル</p> <p>周波数帯域 (CS ● BS/CS (4K/8K) UHF CATV)</p> <p>4. 受信アンテナ</p> <p>・ UHF用 () 素子 • FM用 () 素子 • CS用 () 素子 • BS/CS用 () 素子 • AM用 ホイップ型</p> <p>5. アンテナ取付</p> <p>・ 自立形 ・ 壁掛形</p> <p>6. 増幅器</p> <p>周波数帯域 (CS BS UHF FM AM CATV)</p> <p>7. ヘッドエンド装置</p> <p>・ 自主放送装置 ・ シグナルコンバータ ・ チャンネルプロバーン</p> <p>8. 電波障害の調査</p> <p>調査時期 (事前 中間 事後) 周波数帯域 (CS BS/CS UHF FM AM CATV)</p> <p>● 9. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>
	● 1. 電話機		
	● 2. 電話用受口		
	● 3. 携帯端末連動		
	● 4. 保安器用接地		
	● 5. その他		
	● 6. 電話機		
	● 7. 電話用受口		
	● 8. 携帯端末連動		
	● 9. その他		
● 17. 情報表示設備	表示装置 • 内照式 • LCD式 操作器 • 単独 • 電話連動 • PHS充電箱連動	<p>● 1. 出退表示</p> <p>表示装置 • 内照式 • LCD式 操作器 • 単独 • 電話連動 • PHS充電箱連動</p> <p>● 2. 時計表示装置</p> <p>鶴時計 • 水晶式 回線 (自立形 壁掛形) 子時計 ● 壁掛形 半埋込形 埋込形 電波式 手術時計 駆動法方式 • 駆動バルス • AC100V • 電池式</p> <p>3. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>	<p>● 22. 監視カメラ設備</p> <p>1. 監視カメラ設備の所有</p> <p>2. 伝送方式</p> <p>・ アナログ ・ ネットワーク (H264 MPEG4 Motion-JPEG)</p> <p>3. カメラ</p> <p>・ カラー</p> <p>4. レンズ</p> <p>・ 一体型 ・ 交換型 ・ ズーム型</p> <p>5. 電源供給方式</p> <p>・ AC給電方式 ・ 電源蓄電方式</p> <p>6. モニター装置</p> <p>・ カラーモニタ モニターサイズ (inch)</p> <p>7. 録画装置</p> <p>・ デジタル (TB)</p> <p>8. 監視操作部</p> <p>・ カメラ動作 ・ 映像切替 ・ 画面分割</p> <p>9. その他</p> <p>仕様・詳細は設計図による</p>
	● 1. 電話機		
	● 2. 時計表示装置		
	● 3. その他		
<p>件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事</p> <p>図名 特記仕様書-3</p> <p>縮尺 -</p> <p>日付 2025/12/7 (令和7年)</p> <p>E103</p>			

● 26.その他	機器取付け高さは下記を標準とする。ただし、現場の状態により監理者の承認を受けて変更することができる		
	名 称	測 点	取付高(mm)
共 通	取引用計器	床～上端	2,000
	引込開閉器箱	床～上端	1,500
	蓄輪盤	床～中心	1,500
	端子盤（廊下・室内）	床～下端	300
	端子盤（EPS・電気室）	床～中心	1,500
	接地端子箱	地上～中心	500
	避雷接地端子箱	床～下端	800
	接地極埋設桿	地上～中心	600
	分電盤、OA盤、実験盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
電 灯	スイッチ（身体障害者用）	床上～中心	1,100
	コンセント（一般）	床上～中心	300（又は500）
	〃（和室）	床～中心	150
	〃（台上）	台～中心	150
	〃（車庫）	床～中心	800
	フラケット（一般）	床上～中心	2,100
	〃（踊場）	床上～中心	2,500
	〃（鏡）	鏡～下端	150
	避雷口誘導灯	床上～下端	1,500 以上
	廊下通過誘導灯	床上～上端	1,000 以下
動 力	制御盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	開閉器箱	床上～中心	1,500
	操作スイッチ・押ボタン	床上～中心	1,300
	室内端子盤（廊下・室内）	床～下端	300
	中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
	集合保安器箱	床上～中心	透宣
	壁付アダプターボックス（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	床～中心	150
	〃（台上）	台～中心	150
	電話用アウトレット（一般）	床上～中心	300
電 話	〃（和室）	床～中心	150
	〃（台上）	台～中心	150
	時計時計	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	子時計	床上～中心	透宣
	スピーカ	床上～中心	透宣
	アンプ・ネットワーク	床上～中心	1,300
	表示盤	床上～中心	透宣
	発信器（出退表示用）	床上～中心	1,300
	取出ボタン（身体障害者用）	床上～中心	900
	復帰ボタン（身体障害者用）	床上～中心	1,500～1,800
時計・拡声	廊下表示灯（身体障害者用）	床上～中心	2,000
	インターホン	床上～中心	1,500
	〃（身体障害者用）	床上～中心	1,100
	ト レ イ ル	床上～中心	500
	〃（和式）	床上～中心	300
	機器収容箱	床上～中心	1,800
	直列ユニット（一般）	床上～中心	300
	〃（和室）	床上～中心	150
	〃（台上）	台～中心	150
	受信機	床上～操作部	800～1,500
火 災	副受信機	床上～中心	1,500
	自動通報機器収容箱	床上～中心	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	ベル	床上～中心	透宣
	消火栓表示灯	床上～中心	透宣
	ガス漏れ検知器（LPガス）	床上～中心	300 以内
	〃（都市ガス）	天井面～中心	天井面より下方300以内
	連動制御器（自動閉鎖）	床上～中心	1,500
	【備考】配線器具等の取付高さにおいて、異なる仕上げ材料にまたがる場合は、監理者と調整を行うこと		
● 27.設備機材の指定			
● 1. 製作者の指定			製作者については、原則として下記の指定表に該当する製作者を採用し、請負者が任意に選定する事ができるが、監理者に事前に承認を得ること
● 2. 機材指定表			電線及びケーブル 下記以外 JISマーク表示のあるものとし、製作者を指定しない 耐火・耐熱ケーブル 耐火・耐熱電線認定業者委員会の認定表示（JCOMAマーク）のあるものとし、製作者を指定しない
● 28.配管スリープ打ち込み要領			1.スリープ施工図作成要領 1) 施工図は監理者および各施工者の調整事項を反映した建築全体図（縮尺1/50）とする 部分図の場合は全体キープランを図中に記入し、その範囲を示す 2) 施工図には工事名称・図面名称・図面番号・施工者名・各工種の審査者名及び作成年月日等を記入する 3) 表示する内容はスリープ径、平面上の位置と高さ、梁の上下のへりあい、補強種別及び工事種別とする 工事種別は略号で表し図中に凡例を記入する（線の色で種別分けをしても構わない） (例：建築K、衛生P、空調A、電気E、搬送T) 4) 次の場合は屋根換算を行なう (1) すべての耐力壁 (2) 機械室周囲の壁等で開口が集中する箇所 (3) 梁貫通孔が集中する箇所（ピット内地中梁人道孔周り等） (4) その他監理者が指定する部位 5) 外壁やホール、吹き抜け等の意匠上見えがかりとなる箇所は、意匠検討を行うため建築立面図や展開図に記入する（意匠監理者と協議を行う） 6) 床開口が集中する場合は、構造監理者の指示を受けること 7) 梁貫通孔強度既製品を使用する場合は、製造所の施工者様と補強計算書を事前に提出し構造監理者の確認を受けること 8) 放射継続護壁内の埋設配管は、事前に構造監理者と協議を行うこと 9) 工事区分（補強筋施工・スリープ施工）、施工工程（各関連業種の施工手順と日程）は事前に調整、確認すること
● 29.柱の埋設配管			1) 柱面に建設するボックス類について (1) 柱面にボックス類は建設してはならない やむを得ず柱位置にボックスを設ける場合は、乾式工法（鉄筋下地）またはコンクリートの打ち増し等を検討する 2) 柱内に埋設する配管 (1) 柱内に埋設する配管は、主筋に沿わせて配管してはならない ② 配管はフープの内側を通すものとし、配管用補助鉄筋（設備工事）を配置し固定する 3) 柱筋への接続 (1) アース端子板等、鉄筋への接続は十分な管理の下、接続の有資格者が行うこと
● 30.壁の埋設配管			1) 壁面に埋設する配管について (1) 外壁および耐力壁には原則として配管を埋込ではならない (2) 一般壁（厚さ150mm以上ダブル配筋）の配管は、PF22（外径31mm）以下とし、配管相互の距離を200mm以上とする (3) 一般壁（厚さ150mm以上シングル配筋）の配管は、PF16（外径23mm）以下とし、下図に示す補強筋を配置する (4) 外壁において打放し上げ（追築仕上げ込み）は、t=150の場合、打ち込みはしてはならない (5) 構造スリットを貫通する配管はしてはならない (6) 地下外壁には、接地用配管および防犯用配管を除き、原則として配管を埋め込んではならない (7) EPS内は、露出配管またはケーブル配線として壁体内に埋設してはならない (8) 埋込み型の配管、端子盤等を設置するときは二重壁にする際の対応を行う やむを得ない場合は、構造監理者と協議し、鉄筋量を増やす等の処置を行う (9) 開口部の周囲に設置するスイッチ等のボックスについては、開口補強の納まりを構造担当者と協議する
● 31.梁の埋設配管			1) 梁に軸方向の配管はしてはならない 2) 梁にボックス類の埋設はしてはならない 3) 配管を集中する分電盤まわり等は、梁の船底方向貫通をしてはならない。やむを得ず行う場合は、梁の側面を増すだけ 4) 梁を横断する配管は、梁の生筋の内側を透す。 ただし、梁を下げてその上部を透す場合は その原因ではない 5) 梁を横断する配管は、梁の材軸とできるだけ直角に横断して配管する 6) 梁の断面では、配管は柱の直から500mm以上離す 配管の距離は、あら筋の間に1本以下とし、かつ、その相手の間隔は200mm以上とする 7) 配管は1m幅に4本までとし、1m以上離隔を確保し、次配管を埋設する。やむを得ず、5本の場合には ひび割れ防止としてワイヤーメッシュ等で補強を行う 8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す 9) 配管は梁スリープの外周から200mm以上離す。
● 32.柱梁仕口部周囲配管			
● 33.柱の埋設配管			1) 柱面に建設するボックス類について (1) 柱面にボックス類は建設してはならない やむを得ず柱位置にボックスを設ける場合は、乾式工法（鉄筋下地）またはコンクリートの打ち増し等を検討する 2) 柱内に埋設する配管 (1) 柱内に埋設する配管は、主筋に沿わせて配管してはならない ② 配管はフープの内側を通すものとし、配管用補助鉄筋（設備工事）を配置し固定する 3) 柱筋への接続 (1) アース端子板等、鉄筋への接続は十分な管理の下、接続の有資格者が行うこと
● 34.壁の埋設配管			1) 壁面に埋設する配管について (1) 外壁および耐力壁には原則として配管を埋込ではならない (2) 一般壁（厚さ150mm以上ダブル配筋）の配管は、PF22（外径31mm）以下とし、配管相互の距離を200mm以上とする (3) EPS内は、露出配管またはケーブル配線として壁体内に埋設してはならない (4) 壁面に埋設する配管は、柱の直から500mm以上離す 5) 埋設配管の径は、P16（外径23mm）以下とする (6) 埋設配管をやむを得ず交差させる場合は、鉄筋と重ならない位置で交差させる 特に3重の交差にならないように注意する。また、カッピング等で鉄筋位置を遮る (7) 実スリープ補強の範囲は、床埋設配管を行ってはならない (8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す (9) プロアドクトを埋設する場合は、施工要領、配置について構造監理者と協議する
● 35.梁の埋設配管			1) 梁に軸方向の配管はしてはならない 2) 梁にボックス類の埋設はしてはならない 3) 配管を集中する分電盤まわり等は、梁の船底方向貫通をしてはならない。やむを得ず行う場合は、梁の側面を増すだけ 4) 梁を横断する配管は、梁の生筋の内側を透す。 ただし、梁を下げてその上部を透す場合は その原因ではない 5) 梁を横断する配管は、梁の材軸とできるだけ直角に横断して配管する 6) 梁の断面では、配管は柱の直から500mm以上離す 配管の距離は、あら筋の間に1本以下とし、かつ、その相手の間隔は200mm以上とする 7) 配管は1m幅に4本までとし、1m以上離隔を確保し、次配管を埋設する。やむを得ず、5本の場合には ひび割れ防止としてワイヤーメッシュ等で補強を行う 8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す 9) 配管は梁スリープの外周から200mm以上離す。
● 36.床の埋設配管			1) 床の埋設配管 (1) 屋根スラブや防水仕様のスラブには、埋設配管を行ってはならない (2) 配管が集中して立ち上がる場所は、その1スパンの範囲内の梁およびスラブを 150mm以上下げる、増し打ちしたスラブの配管の上部には、メッシュ筋（Φ150×150程度） を敷設する (3) 平行する配管は、1m幅に4本以下とする。また、配管相互の間隔は、150mm以上離す (4) 埋設配管の径は、P16（外径23mm）以下とする (5) 埋設配管をやむを得ず交差させる場合は、鉄筋と重ならない位置で交差させる 特に3重の交差にならないように注意する。また、カッピング等で鉄筋位置を遮る (6) 実スリープ補強の範囲は、床埋設配管を行ってはならない (7) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す (8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す (9) プロアドクトを埋設する場合は、施工要領、配置について構造監理者と協議する
● 37.柱の埋設配管			1) 柱面に建設するボックス類について (1) 柱面にボックス類は建設してはならない やむを得ず柱位置にボックスを設ける場合は、乾式工法（鉄筋下地）またはコンクリートの打ち増し等を検討する 2) 柱内に埋設する配管 (1) 柱内に埋設する配管は、主筋に沿わせて配管してはならない ② 配管はフープの内側を通すものとし、配管用補助鉄筋（設備工事）を配置し固定する 3) 柱筋への接続 (1) アース端子板等、鉄筋への接続は十分な管理の下、接続の有資格者が行うこと
● 38.壁の埋設配管			1) 壁面に埋設する配管について (1) 外壁および耐力壁には原則として配管を埋込ではならない (2) 一般壁（厚さ150mm以上ダブル配筋）の配管は、PF22（外径31mm）以下とし、配管相互の距離を200mm以上とする (3) EPS内は、露出配管またはケーブル配線として壁体内に埋設してはならない (4) 壁面に埋設する配管は、柱の直から500mm以上離す 5) 埋設配管の径は、P16（外径23mm）以下とする (6) 埋設配管をやむを得ず交差させる場合は、鉄筋と重ならない位置で交差させる 特に3重の交差にならないように注意する。また、カッピング等で鉄筋位置を遮る (7) 実スリープ補強の範囲は、床埋設配管を行ってはならない (8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す (9) プロアドクトを埋設する場合は、施工要領、配置について構造監理者と協議する
● 39.梁の埋設配管			1) 梁に軸方向の配管はしてはならない 2) 梁にボックス類の埋設はしてはならない 3) 配管を集中する分電盤まわり等は、梁の船底方向貫通をしてはならない。やむを得ず行う場合は、梁の側面を増すだけ 4) 梁を横断する配管は、梁の生筋の内側を透す。 ただし、梁を下げてその上部を透す場合は その原因ではない 5) 梁を横断する配管は、梁の材軸とできるだけ直角に横断して配管する 6) 梁の断面では、配管は柱の直から500mm以上離す 配管の距離は、あら筋の間に1本以下とし、かつ、その相手の間隔は200mm以上とする 7) 配管は1m幅に4本までとし、1m以上離隔を確保し、次配管を埋設する。やむを得ず、5本の場合には ひび割れ防止としてワイヤーメッシュ等で補強を行う 8) 梁と平行する配管は、梁の側面から500mm以上離す 9) 配管は梁スリープの外周から200mm以上離す。
● 40.床の埋設配管			1) 床の埋設配管 (1) 屋根スラブや防水仕様のスラブには、埋設配管を行ってはならない (2) 配管が集中して立ち上がる場所は、その1スパンの範囲内の梁およびスラブを 150mm以上下げる、増し打ちしたスラブの配管の上部には、メッシュ筋（Φ150×150程度） を敷設する (3) 平行する配管は、1m幅に4本以下とする。また、配管相互の間隔は、150mm以上離す (4) 埋設配管の径は、P16（外径23mm）以下とする (5) 埋設配管をやむを得ず交差させる場合は、鉄筋と重ならない位置で交差させる 特に3重の交差にならないように注意する。また、カッピング等で

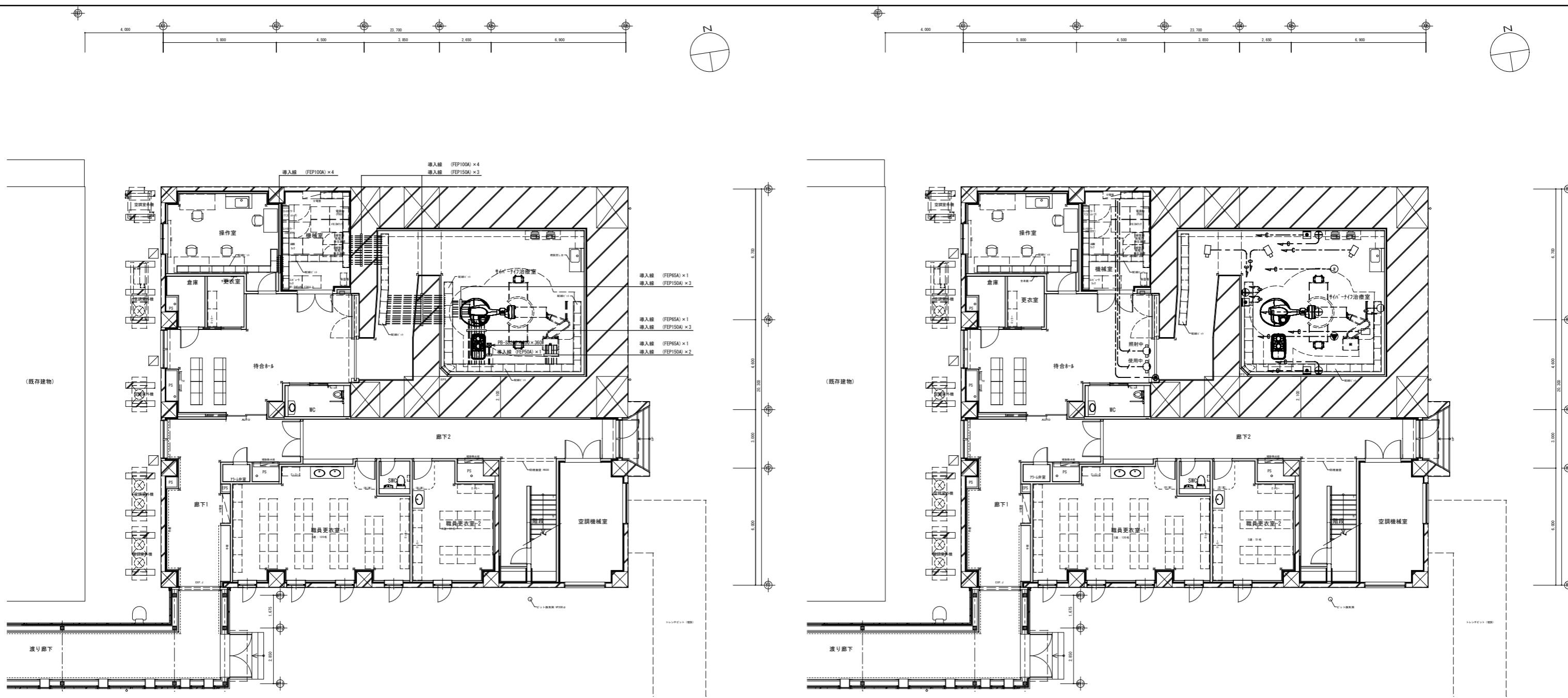


件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名 配置図	電気
縮尺 1/600(A1) .1/1200(A3)	日付 2025/12(令和7年) E106





件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名 分電盤-2	
縮尺 ----- (A1) , ----- (A3)	電気
日付 2025/12 (令和7年)	E108



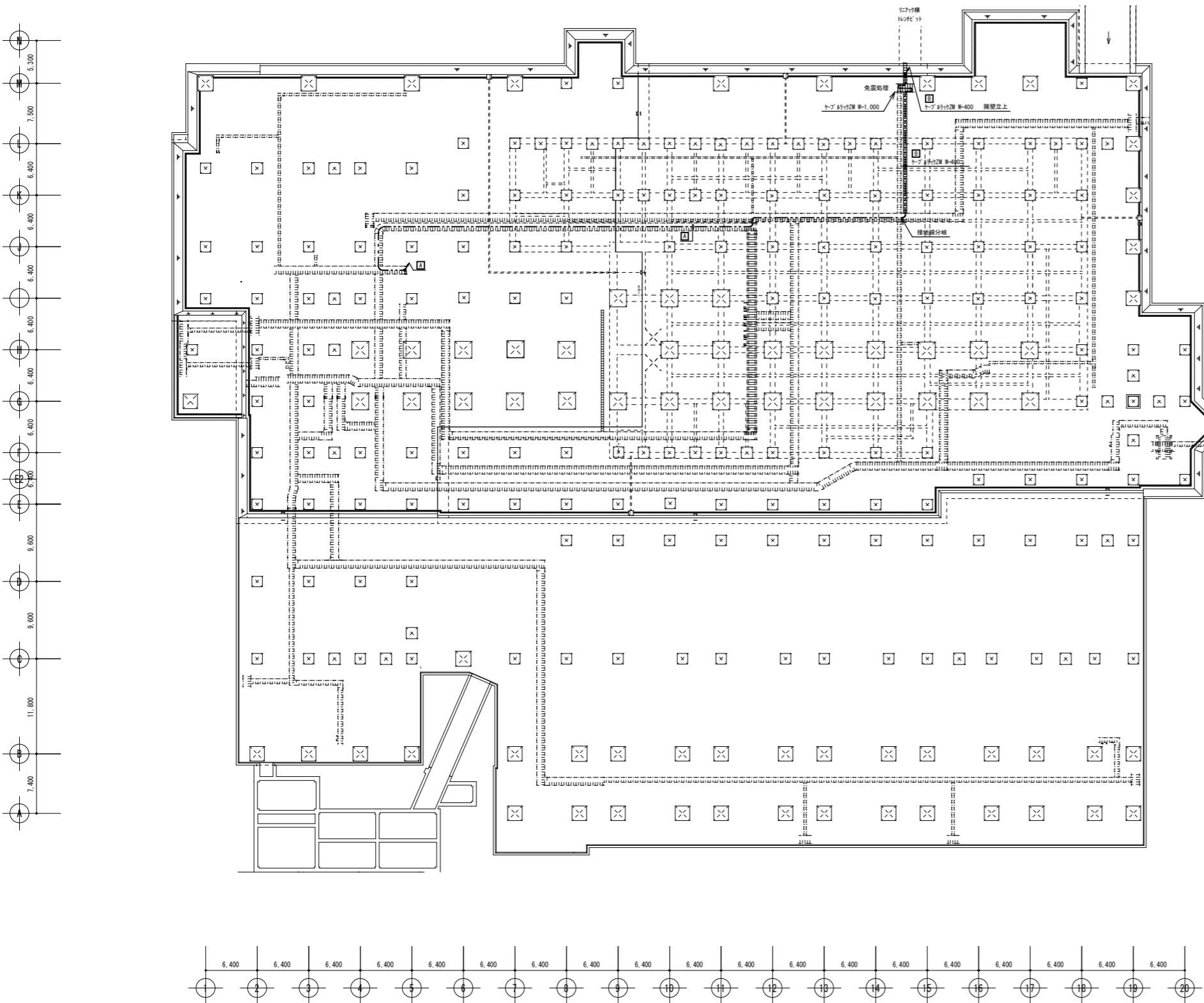
1階平面図 埋設配管図

1階平面図 医療機器配管配線図

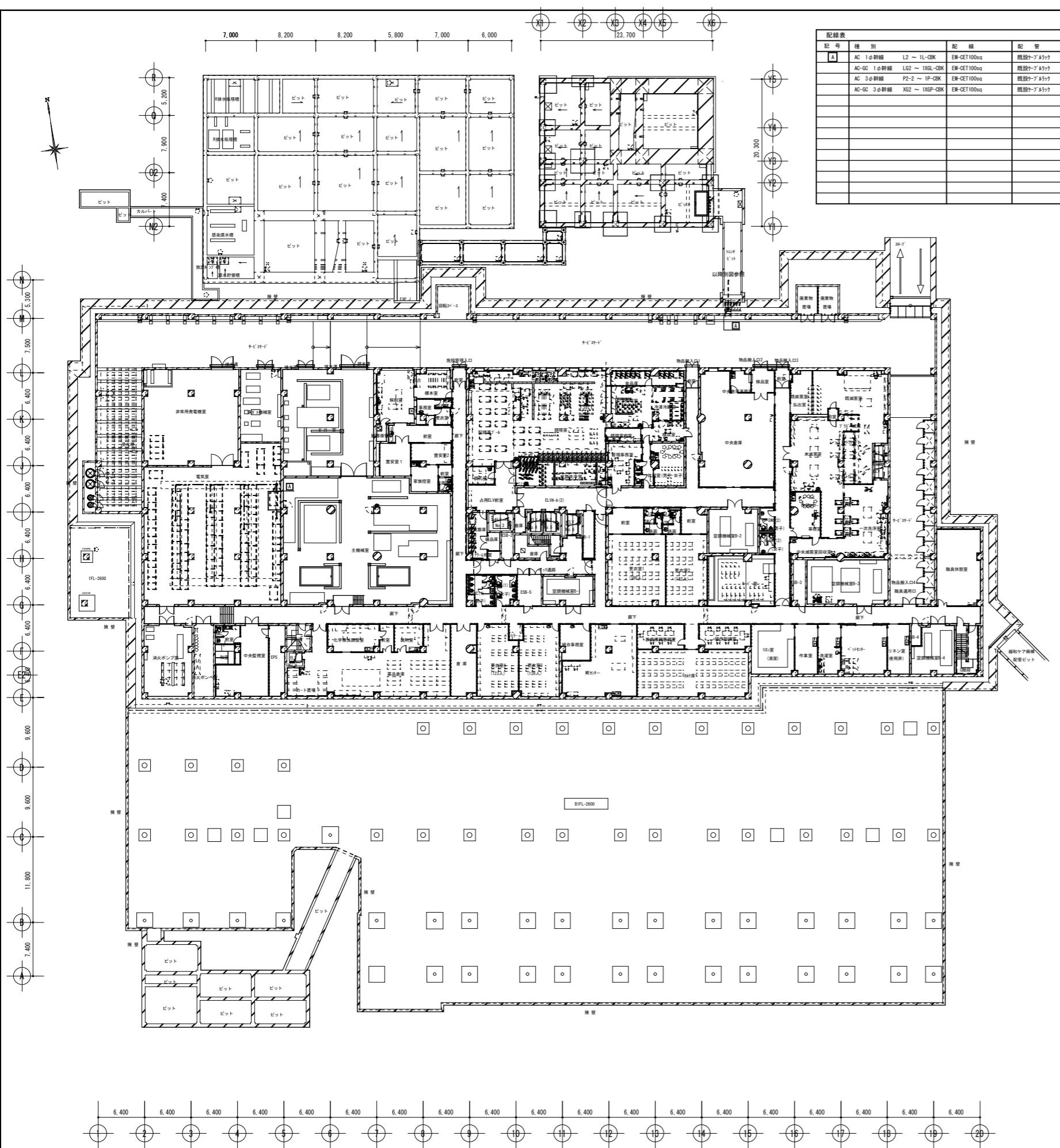
凡 例		
図示記号	名 称	備 考
■	緊急停止スイッチ	本体及び配線は医療機器工事
□	患者監視カバー	本体及び配線は医療機器工事
●	天井埋込穴マーク	本体及び配線は医療機器工事
◎	天井埋込マーキ	本体及び配線は医療機器工事
⊕	レーザー光ガイド用位置ドット	本体及び配線は医療機器工事
⊕	レーザー光ガイド用位置ドット(天井埋込)	本体及び配線は医療機器工事
○	表示灯	本体は医療機器工事
●	インターフォンドアオーバル回路	本体は医療機器工事
○	ティーベンダント用位置ドット	本体及び配線は医療機器工事

特記事項		
1. 記入なき配線は下記による		
----- 二重天井内ころがし配線		
1) 天井内ころがし配線において下記部分については電線管保護とする 貫通及び壁内部 : PE管		
配線凡例	配線内容	保護管
---	EM-EFF1.6-2C	(PF16)
---	EM-EFF1.6-3C	(PF16)
---	導入線 (PF22)	
2. 防火区画等の貫通箇所は国土交通大臣認定の資材(1時間耐火)により適正処理の事。		

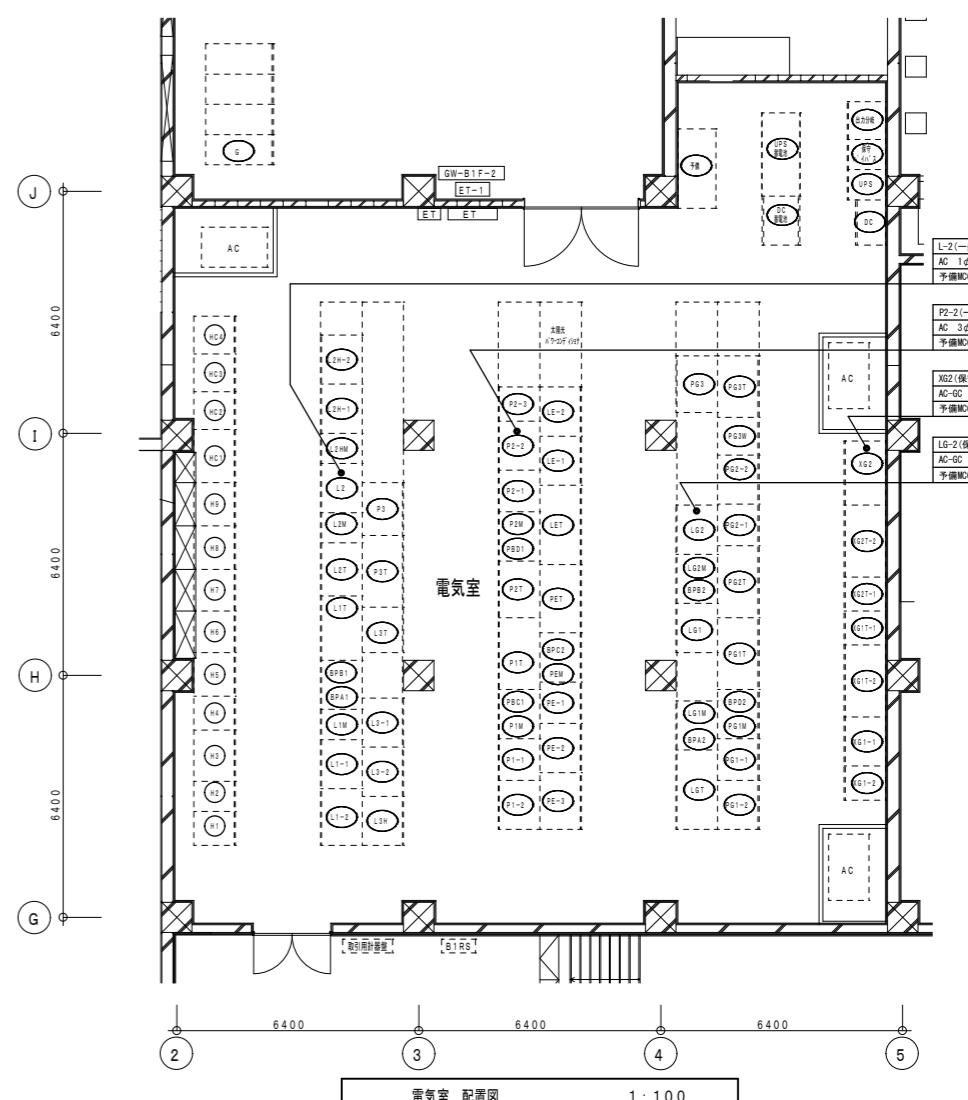
件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名 サイバーナイフ治療室 配管配線図	電気
縮 尺 1/100(A1), 1/200(A3)	日 付 2025/12(令和7年)



件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事		
図名 病院本棟免震階平面図 幹線設備		電気 E110
縮尺 1/300(A1) .1/600(A3)	日付 2025/12(令和7年)	

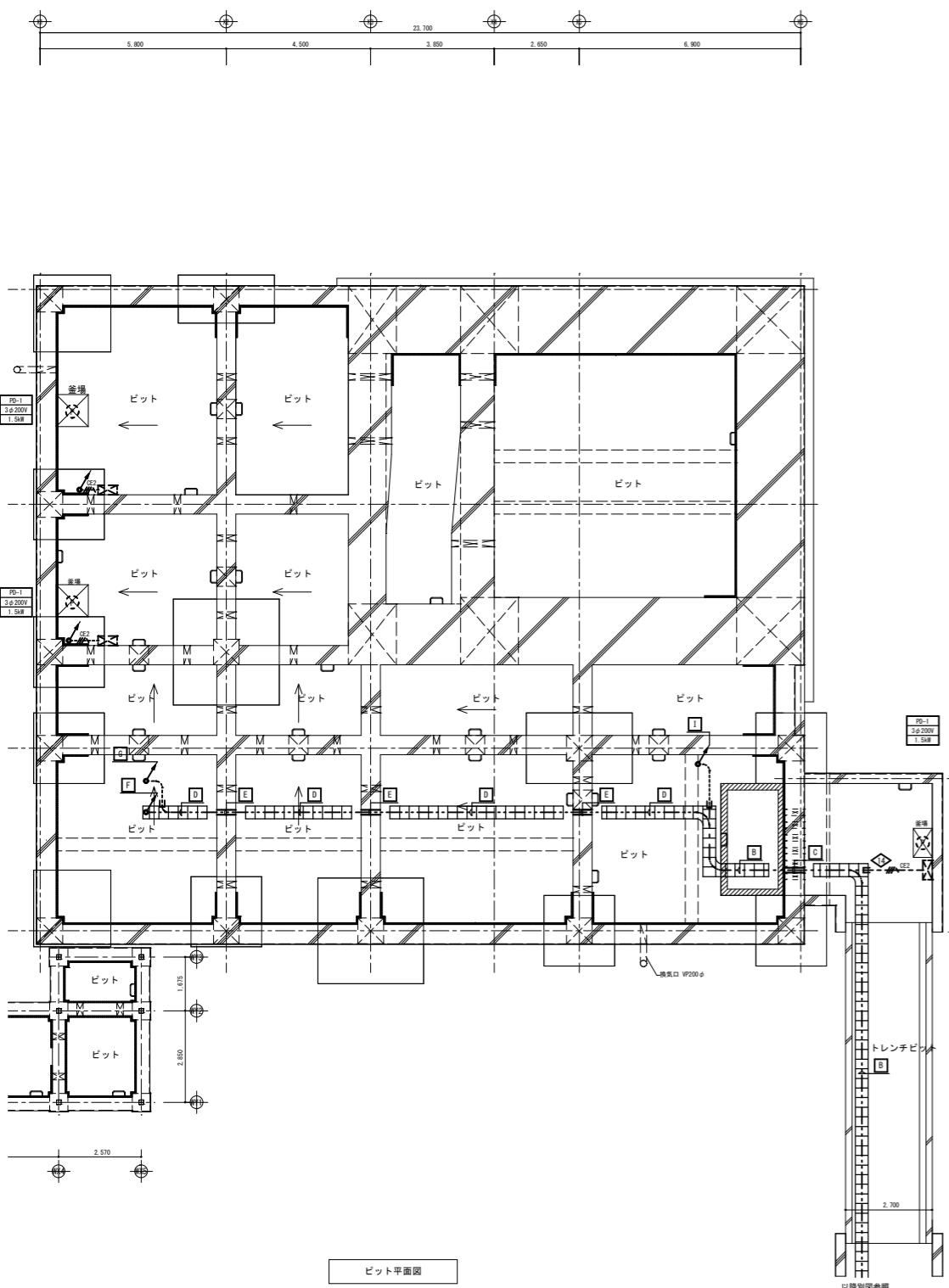


配線表			
記号	種別	配線	配管
A	AC 1φ幹線	L2 ~ 1L-CBK	既設ケーブル
AC-GC 1φ幹線	L2 ~ 1XGL-CBK	既設ケーブル	
AC 3φ幹線	P2-2 ~ 1P-CBK	EM-CET100sq	
AC-GC 3φ幹線	XG2 ~ 1XGP-CBK	EM-CET100sq	

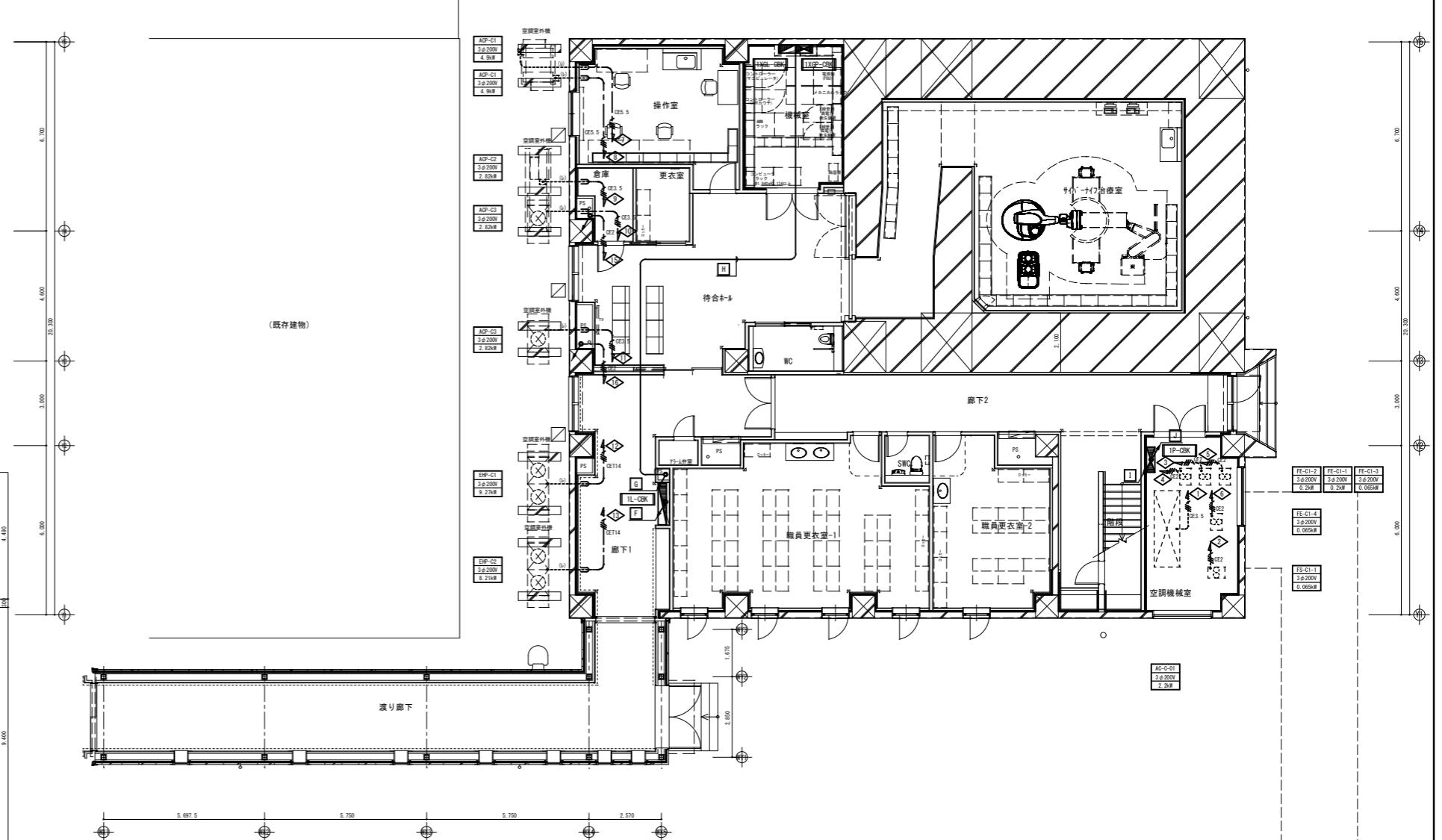


盤名称			
盤番号	盤名稱	盤番号	盤名稱
H1	高圧引込盤	P11	一般動力変圧器盤 N°1
H2	高圧電盤	P1C1	非常動力バイパス盤 (C系)
H3	高圧電盤 N°1	P1M	一般動力主幹盤 N°1
H4	高圧用蓄熱計器盤	P1-1	一般動力配電盤 N°1-1
H5	高圧電盤 N°2 (業務用蓄熱)	P1-2	一般動力配電盤 N°1-2
H6	高圧電盤 N°3 (業務用蓄熱)・母線連絡盤 N°1	P1T	保安電灯変圧器盤
H7	母線連絡盤 N°2・高圧用電機連絡盤	P2T	一般電灯バイパス盤 (A系)
H8	高圧電盤 N°4	P2P1	保安電灯主幹盤 N°1
H9	高圧電盤 N°5	P2M	(ブランクボックス)
H10	高圧コンデンサ盤 N°1	P2-1	一般電灯バイパス盤 (B系)
H11	高圧コンデンサ盤 N°2	P2-2	保安電灯主幹盤 N°2
H12	高圧コンデンサ盤 N°3	P2-3	保安電灯配電盤 N°2
H13	高圧コンデンサ盤 N°4	P3T	(ブランクボックス)
L11	一般電灯変圧器盤 N°1	P3	一般動力変圧器盤 N°3 (被圧蓄熱)
L12	保安電灯バイパス盤 (A系・B系)	P4C1	非常動力変圧器盤
L13	保安放射線開閉器盤 N°1	P4M	一般動力バイパス盤 (C系)
L14	一般電灯主幹盤 N°1	P5T-1	非常動力主幹盤
L15	一般電灯配電盤 N°1-1	P5T-2	保安放射線開閉器盤 N°1
L16	一般電灯配電盤 N°1-2	P5T-3	非常動力配電盤 1
L17		P5T-4	保安放射線配電盤 N°1-1
L18		P5T-5	非常動力配電盤 2
L19		P5T-6	保安放射線配電盤 N°1-2
L20		P5T-7	非常動力配電盤 3
L21	一般電灯変圧器盤 N°2	P6T-1	保安放射線開閉器盤 N°2
L22	一般電灯主幹盤 N°2	P6T-2	保安放射線開閉器盤 N°2
L23	一般電灯配電盤 N°2	P6T-3	保安放射線配電盤 N°2
L24	非常電灯用蓄熱盤	P6T-4	非常電灯配電盤 1
L25	非常電灯保守用配電盤	P6T-5	保安動力変圧器盤 N°1
L26	非常電灯保守用配電盤 2	P6T-6	ET-1
L27		P6T-7	主接地端子盤
L28		P6T-8	フロア接地端子盤
L29		P6T-9	取引用計器盤
L30	一般電灯変圧器盤 N°3	P6T-10	(受電電力・基熱調整・電化厨房) メーター収納
L31	(ブランクボックス)	P6T-11	保安動力変圧器盤 N°2
L32	一般電灯変圧器盤 N°3-1	P6T-12	保安動力バイパス盤 (D系)
L33	一般電灯変圧器盤 N°3-2	P6T-13	保安動力主幹盤 N°1
L34	UPS 幹線保守用配電盤	P6T-14	保安動力配電盤 N°1-1
L35		P6T-15	保安動力配電盤 N°1-2
L36		P6T-16	保安動力配電盤 N°2-1
L37		P6T-17	保安動力配電盤 N°2-2
L38		P6T-18	G
L39		P6T-19	非常用免電機 (発電機設備)
L40		P6T-20	B1RS
L41		P6T-21	リモートステーション (電力監視設備)

件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	電気
図名	病院本棟地下1階(全体)平面図 電気室配置図	
記録	配線説明	
縮尺	1/300(A1), 1/600(A3) 1/100(A1), 1/200(A3)	日付 2025/12 (令和7年)
		E111

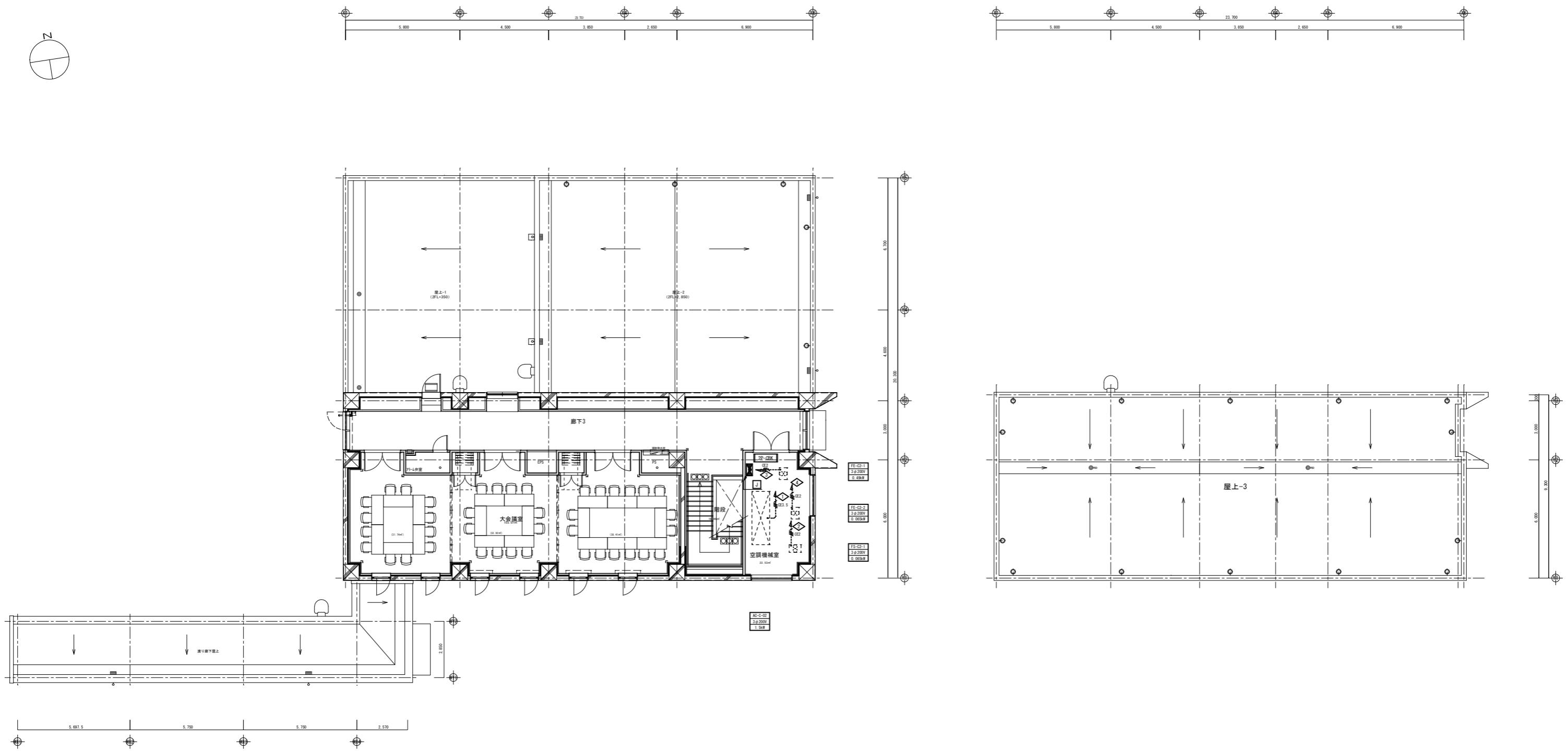


ピット平面図



1層平面図

特 記 事 項			
1. 記入なき記線は下記による			
---	---	二重天井内こごし記線	
-----	-----	ケーブル上記線	
-----	-----	露出配管記線	
-----	-----	露出配管接続出し	
-----	-----	冷媒管化粧剤-(別工事) 内配線	
1) 天井内こごし記線において下記部分については電線管保護とする			
貫通及び壁内部	: PF管		
貫通及び壁内部	: PF管		
配線例示		配線内容	保護管
CE2	EM-CE2sq-4C	露出处	いんべ(部)
CE3.5	EM-CE3.5sq-4C	(E25)	(PF22)
CE5.5	EM-CE5.5sq-4C	(E31)	(PF28)
CE14	EM-CE14sq + 1E5.5sq	(E31)	(PF28)
		(E51)	
2. 防火区画等の貫通箇所は国土交通大臣認定の資材(1時間耐火)により適正処理の事。			



件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	2階・屋根状平面図 昇降設備 動力設備	
電気		
縮尺	1/100(A1) .1/200(A3)	日付 2025/12(令和7年)
		E113

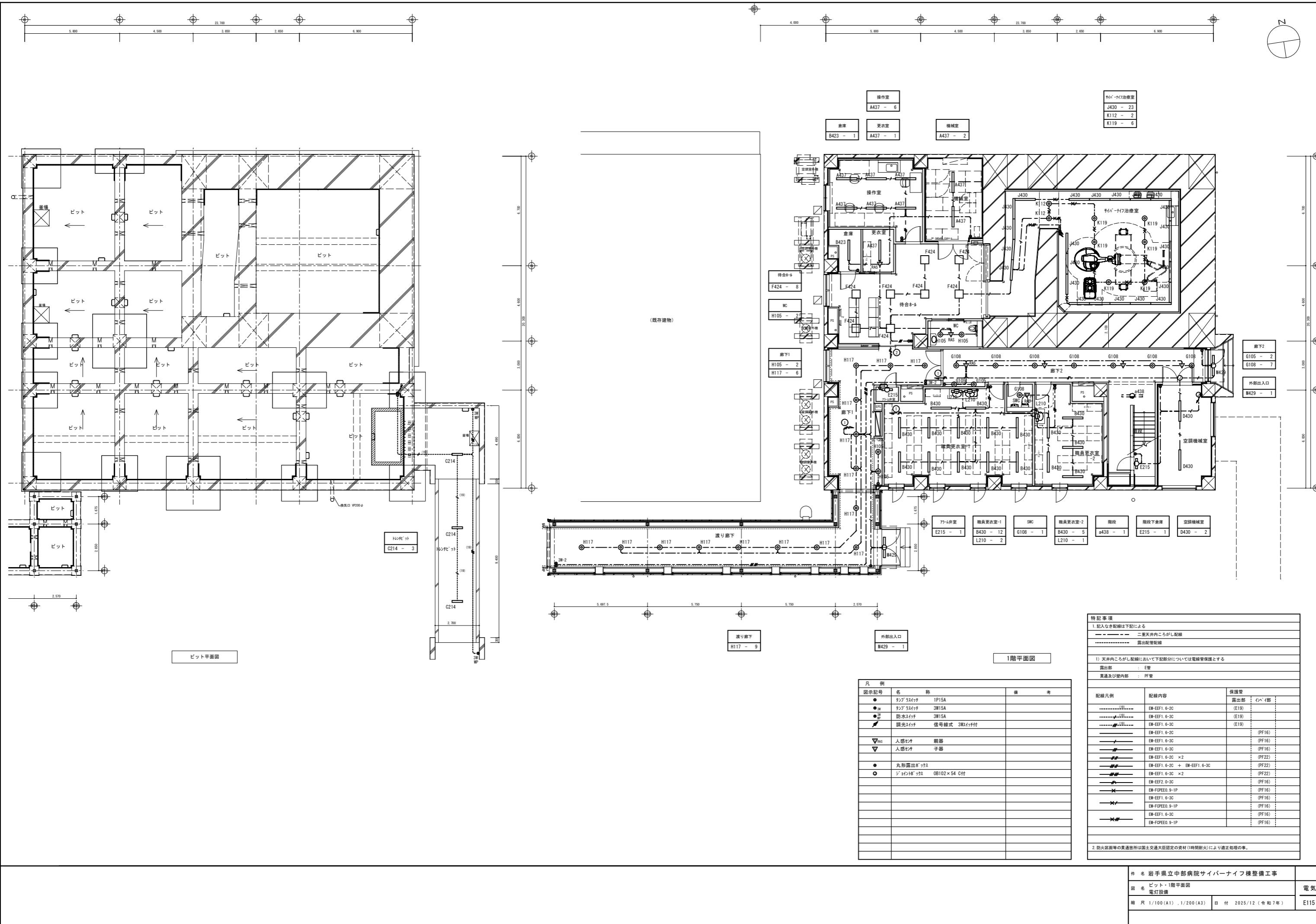
第二章 出生缺陷与产前筛查及诊断——遗传咨询与优生学

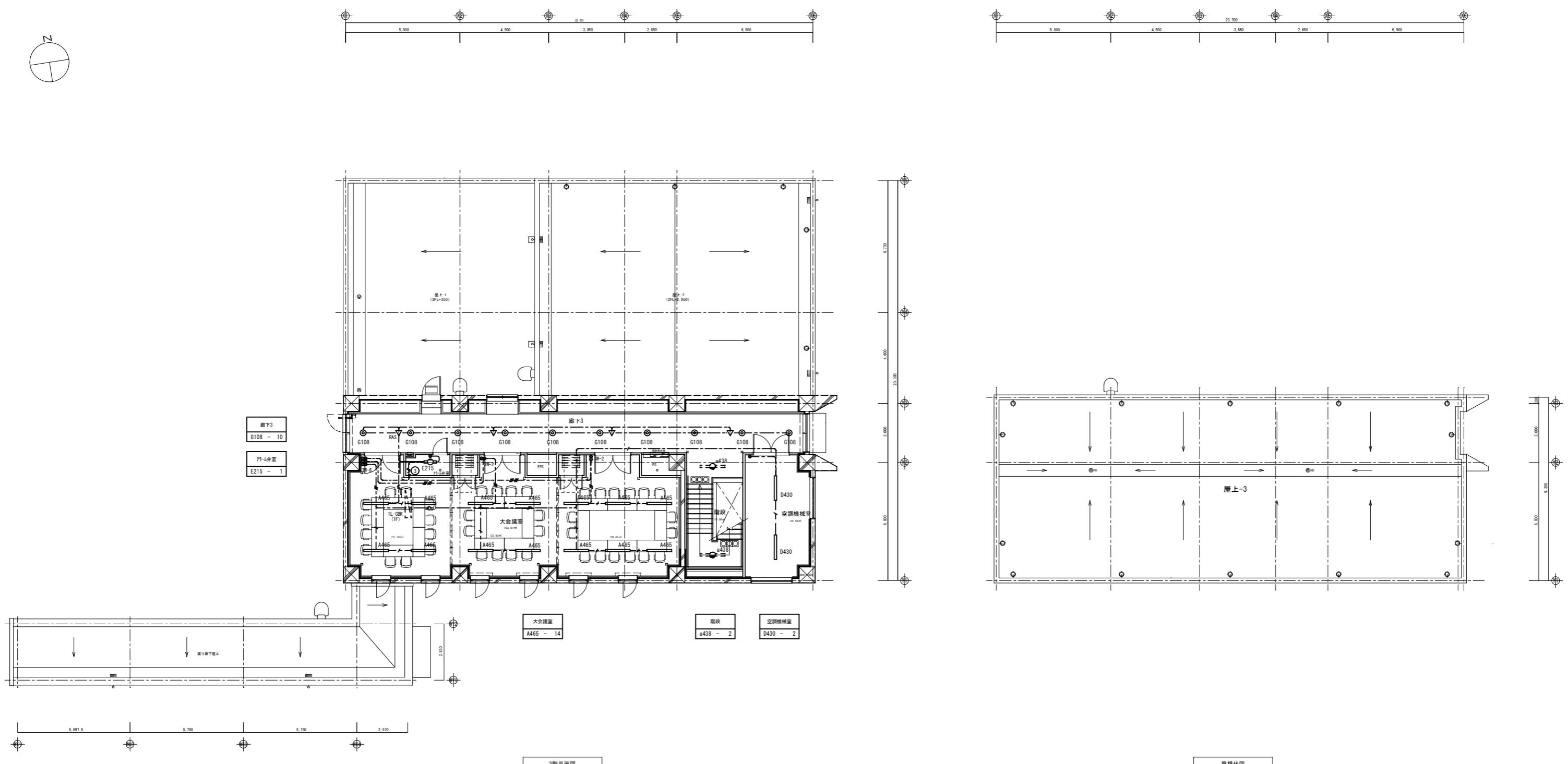
図多 照明器具什様参考資料

雷
喻

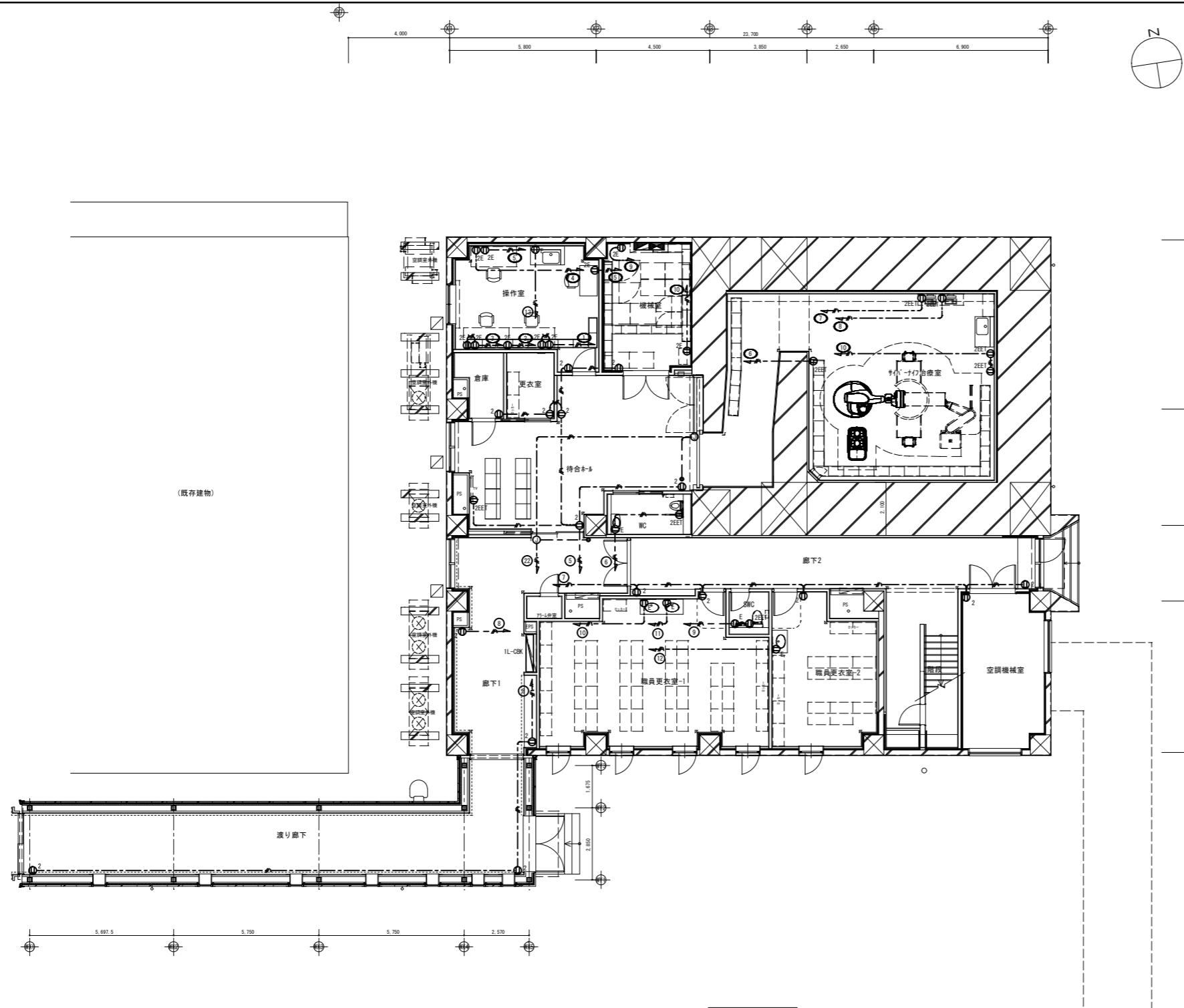
縮 尺 -----(A1) , -----(A3) 日 付 2025/12(令和7年)

For more information about the study, please contact Dr. Michael J. Hwang at (319) 356-4550 or via email at mhwang@uiowa.edu.





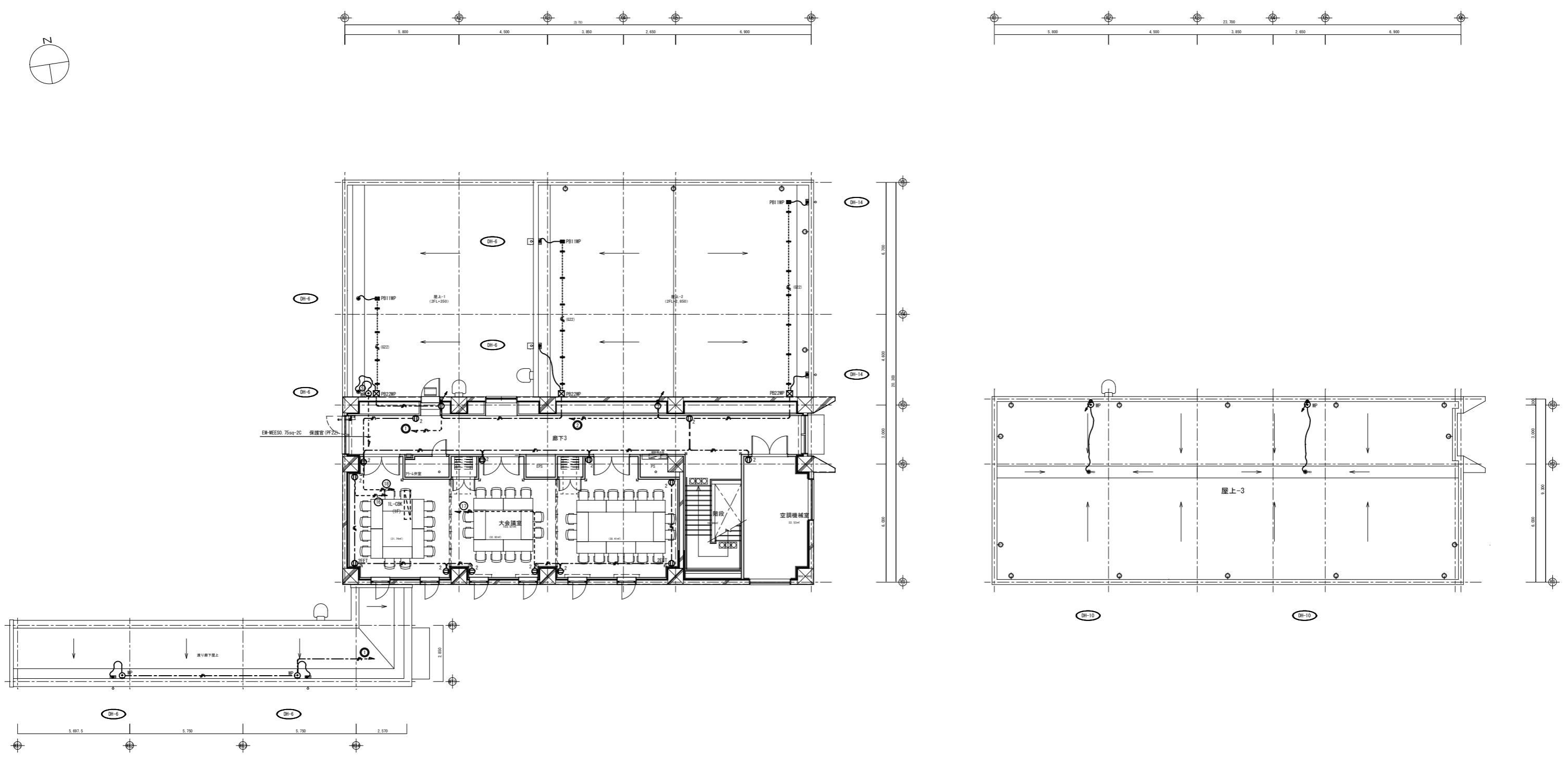
件名	岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名	2階、屋根平面図 電灯設備	
尺	1/100(A1) . 1/200(A3)	日付 2025/12(令和7年)
		E116



凡例		
図示記号	名 称	備 考
●	タングラスイッチ IP15A	
①2	埋込コンセント 2P15A-2	
①E	埋込コンセント 2P15A-1 接地極付	
①延	埋込コンセント 2P15A-2 接地極付	
①EEET	埋込コンセント 2P15A-2 接地極、接地端子付	
◎	ジグイドネッキ 08102×54 0付	

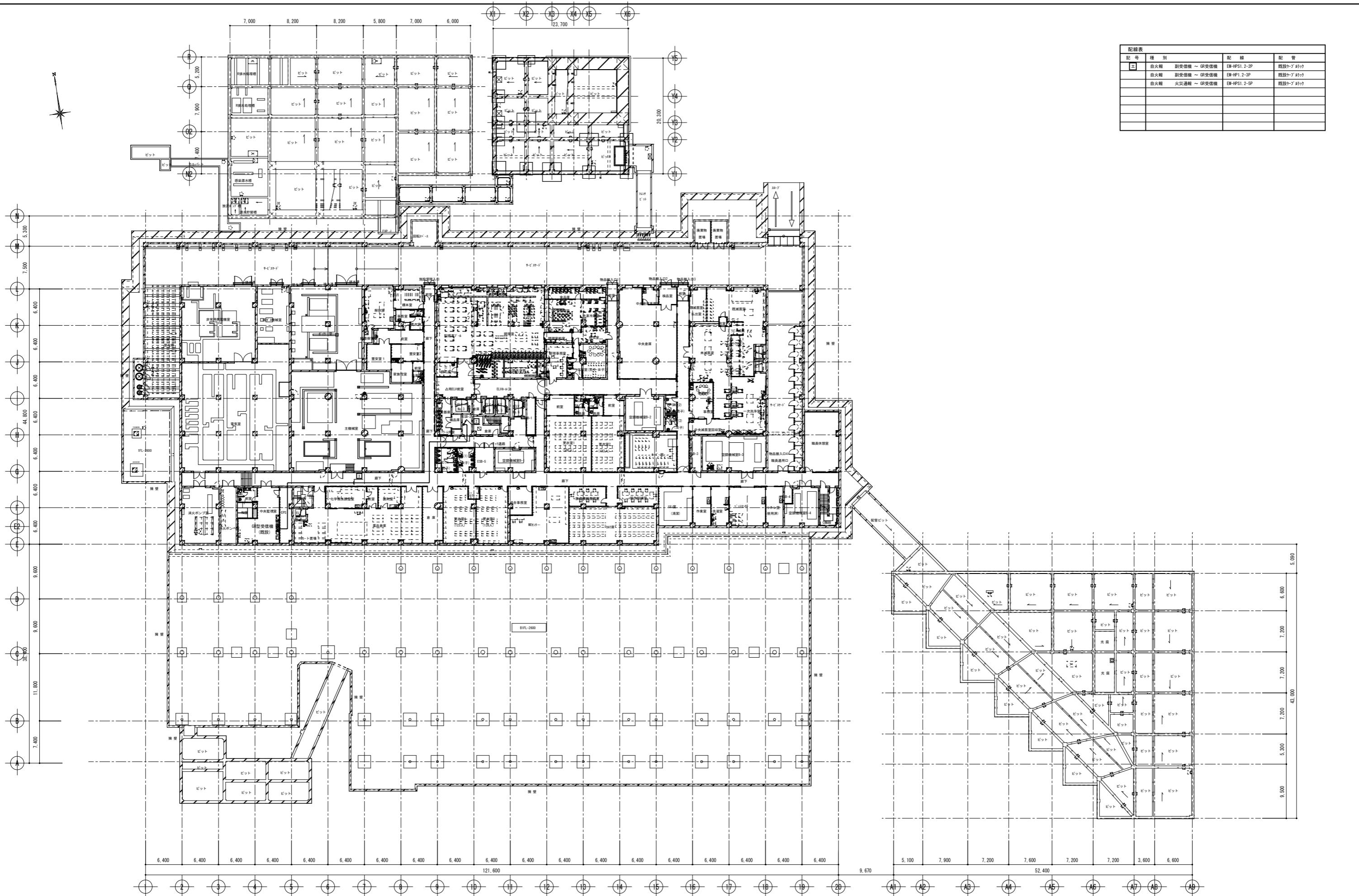
特記事項		
1) 記入なき配線は下記による		
-----	二重天井内ころがし配線	
1) 天井内ころがし配線において下記部分については電線管保護とする		
貫通及び壁内部	：坪管	
配線凡例	配線内容	保護管
——	EM-EEF1.6-2C	(PF16)
—▲—	EM-EEF2.0-3C	(PF16)

2) 防火区画等の貫通箇所は国土交通大臣認定の資材(1時間耐火)により適正処理の事。



凡例	
○BP	防雨入線配線
○	ジョイント・テクス (G102×54 C付)
■PB11MP	PB11MP ブリッジ・アダプター SS100×100×100MP-SUS
■PB22MP	PB22MP ブリッジ・アダプター SS200×200×200MP-SUS
-	配管支持材 タイ・ワイヤー L=150
排水路・機器仕様	
○DH-6	排水路レール 自己温度制御型 +モリット付 1φ 200V 6m 240W
○DH-10	排水路レール 自己温度制御型 +モリット付 1φ 200V 10m 400W
○DH-11	排水路セーバー 自己温度制御型 +モリット付 1φ 200V 14m 560W
○	水分セーバー 制御器付属品

特記事項		
1. 記入なき記録は下記による		
—	二重天井内ころがし配線	
-----	露出部配線	
1) 天井内ころがし配線において下記部分については電線管保護とする		
露出部	E管	
貫通及び壁内部	PP管	
配線凡例	配線内容	保護管
-----	EM-EF1.6-2C (G22)	(G22)
---	EM-EF2.0-3C (PF16)	(PF16)
2. 防火区画等の貫通箇所は国土交通大臣認定の資材(1時間耐火)により適正処理の事。		



件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事

図名 病院本棟地下1階(全体)平面図
通称

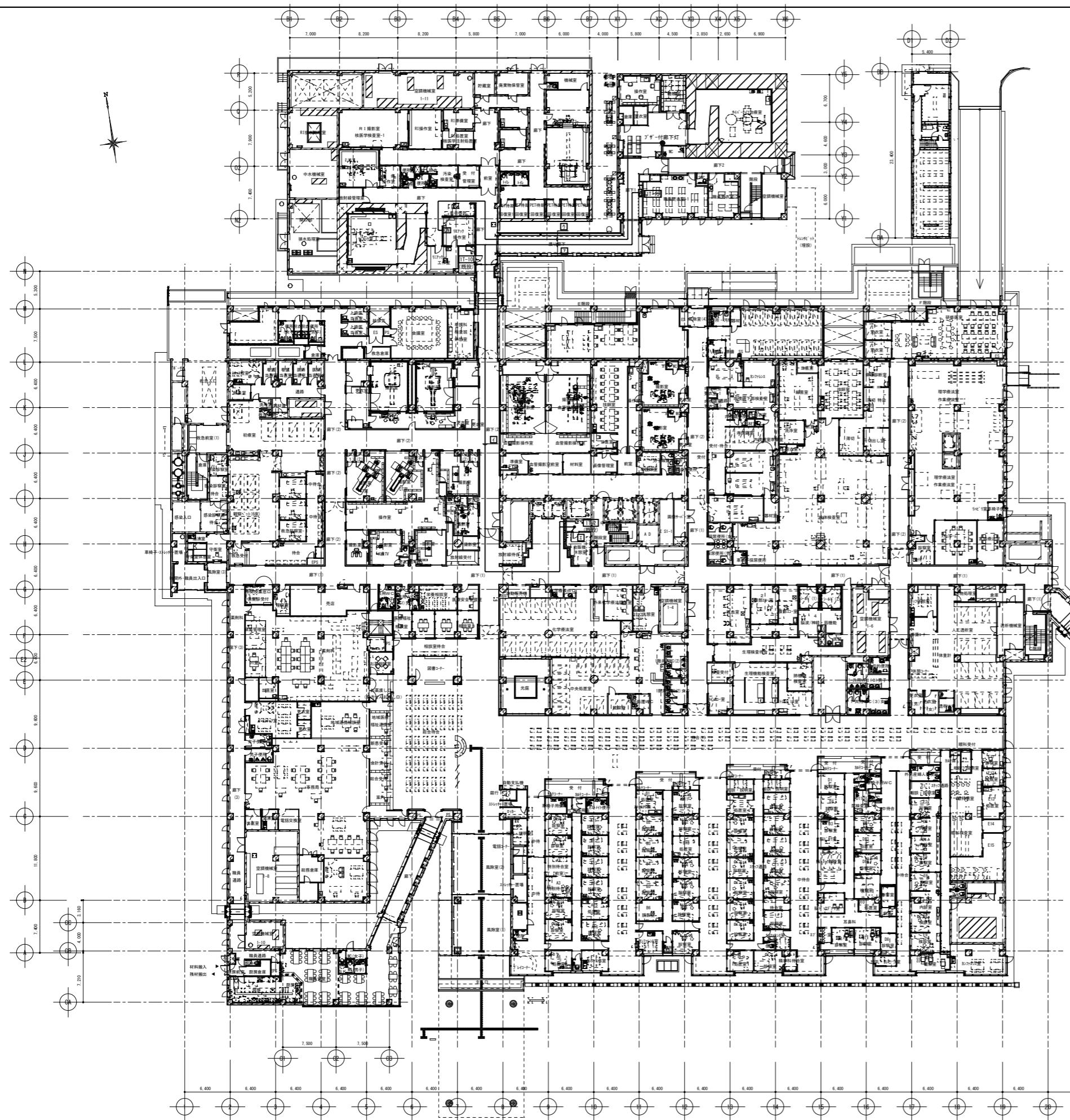
通信幹線

For more information about the study, please contact the study team at 1-800-258-4929 or visit www.cancer.gov.

電氣

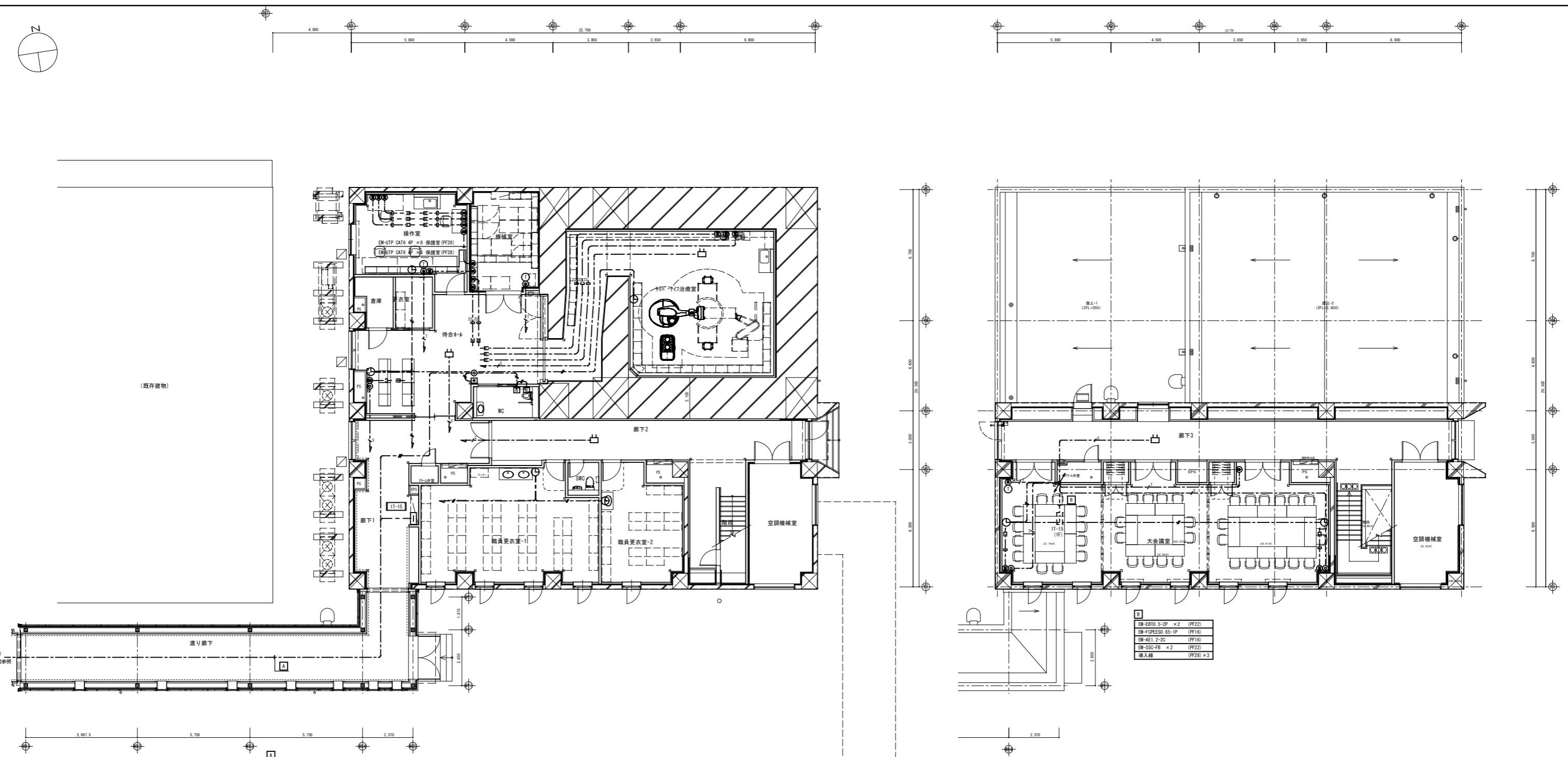
E120

27



配線表			
記号	種別	配線	配管
7	構内交換	IT-15 ~ IT-2	EM-TKEED. 65-20P ケーブルガード - 支持
	振声	IT-15 ~ IT-2	EM-HP1.2-1OP ケーブルガード - 支持
	振声	IT-15 ~ IT-2	EM-HP1.2-5P ケーブルガード - 支持
	電気時計	IT-15 ~ IT-2	EM-AE1.2-2C ケーブルガード - 支持
	ル'カ	IT-15 ~ IT-10	EM-SSC-FB ケーブルガード - 支持
	自火報	中触器盤 ~ 中触器盤(R-1)	EM-HP1.2-1OP ケーブルガード - 支持
	自火報	中触器盤 ~ 中触器盤(R-1)	EM-HP1.2-2C ケーブルガード - 支持
	副受信機	EM-HP1.2-2P ケーブルガード - 支持	
	自火報	副受信機 ~ GR受信機	EM-HP1.2-3P ケーブルガード - 支持
	自火報	火灾通報 ~ GR受信機	EM-HP1.2-5P ケーブルガード - 支持
4	構内交換	IT-15 ~ IT-2	EM-TKEED. 65-20P 既設ケーブル
	振声	IT-15 ~ IT-2	EM-HP1.2-1OP 既設ケーブル
	振声	IT-15 ~ IT-2	EM-HP1.2-5P ケーブルガード - 支持
	電気時計	IT-15 ~ IT-2	EM-AE1.2-2C 既設ケーブル
	自火報	中触器盤 ~ 中触器盤(R-1)	EM-HP1.2-1OP 既設ケーブル
	自火報	中触器盤 ~ 中触器盤(R-1)	EM-HP1.2-2C 既設ケーブル
	副受信機	EM-HP1.2-2P 既設ケーブル	
	自火報	副受信機 ~ GR受信機	EM-HP1.2-3P 既設ケーブル
	自火報	火灾通報 ~ GR受信機	EM-HP1.2-5P 既設ケーブル
5	誘導支援	表示器	EM-EI1.2-3C ケーブルガード - 支持
6	自火報	副受信機 ~ GR受信機	EM-HP1.2-2P 既設ケーブル
	自火報	副受信機 ~ GR受信機	EM-HP1.2-3P 既設ケーブル
	自火報	火灾通報 ~ GR受信機	EM-HP1.2-5P 既設ケーブル

件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	電気
図名 病院本棟階(全体)平面図	
図名 通信幹線	
縮尺 1/300(A1) / 1/600(A3)	日付 2025/12(令和7年)



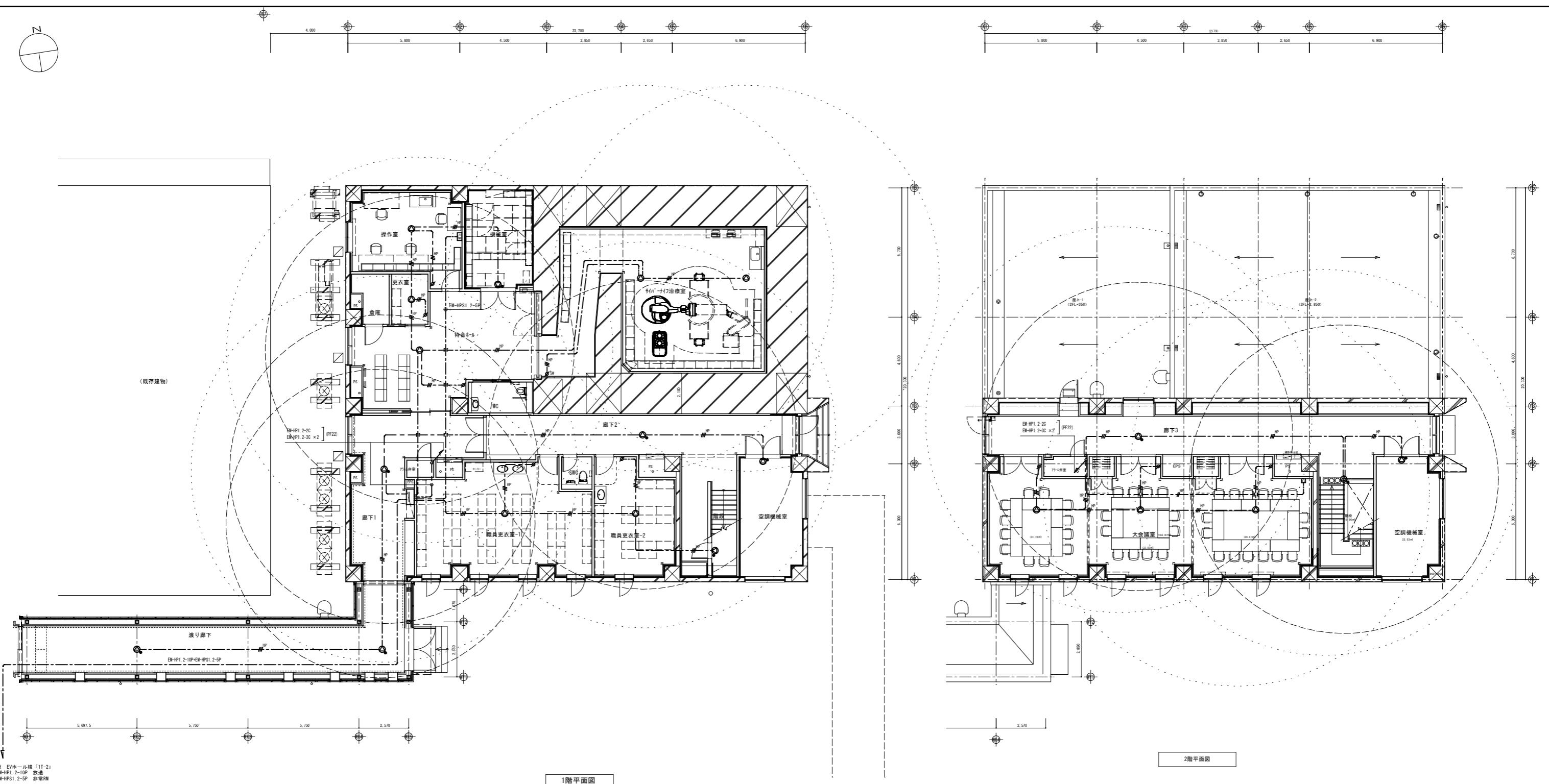
1階平面図

A	EM-TKEE0.65-20P	構内交換
	EM-HP1.2-10P	拡声
	EM-AE1.2-2C	電気時計
	EM-AE1.2-3C	誘導支柱
	EM-S5C-FB	テレビ

凡 例			
設備区分	図示記号	名 称	備 考
構内情報 通信網	●	通信カセットレト ブランクレート	
構内交換	●	通信カセット MJ-BP-4C	
	○	一般電話機	
	□	PHSTランプ	
電気時計	○	アラーム時計 SWR30 6p B1	
誘導支援	□	呼出ボタン ヒモ付	
	□	復旧ボタン	
	○	アダプタ付廊下灯	
	□	呼出表示器 壁掛型 1L	リコック操作室内取付
テレビ共同受信	○	テレビカセットレト SH-7FS	

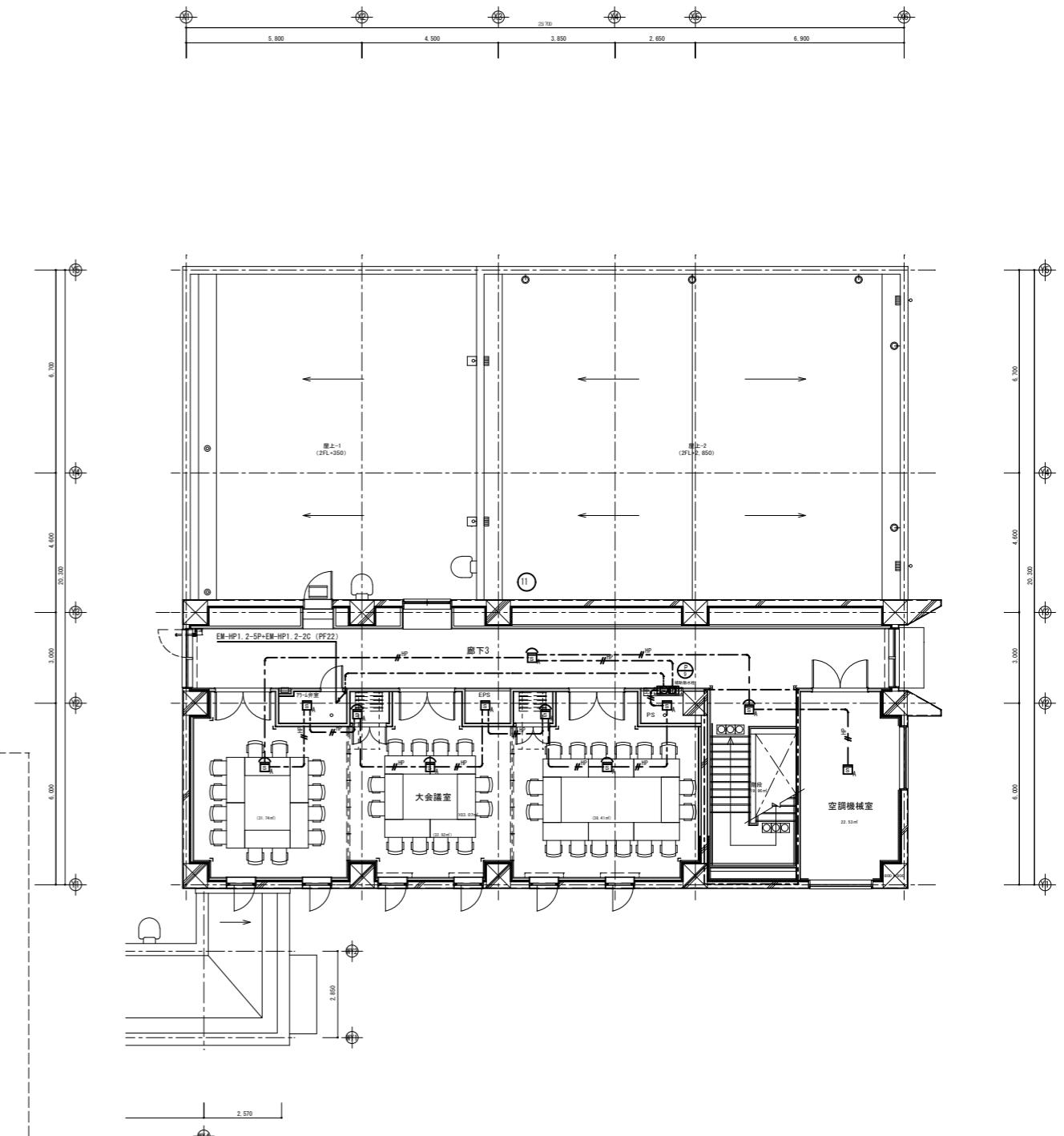
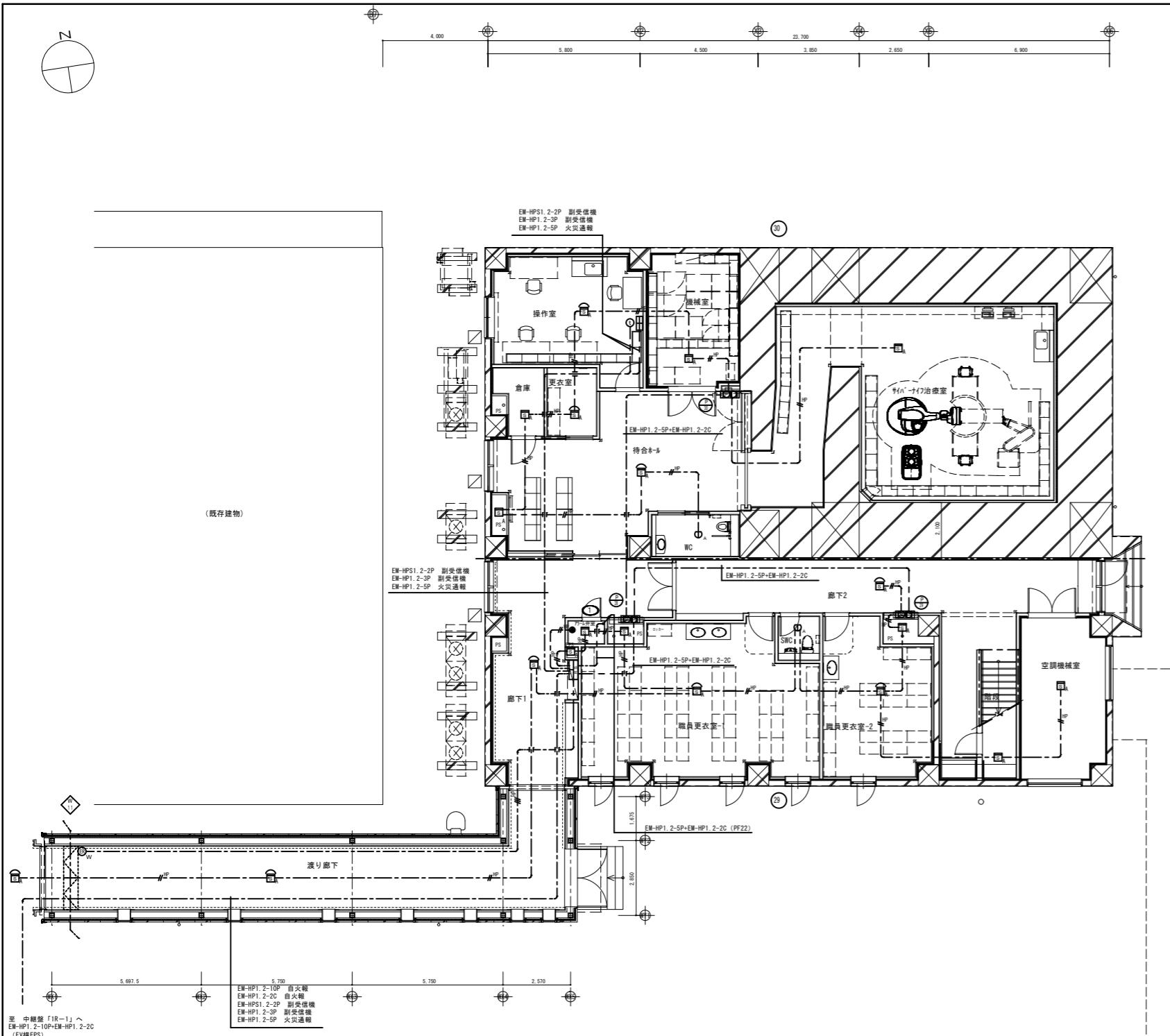
特記事項		
1. 記入なき配線は下記による		
---	二重天井内こうがし配線	
- - -	配管天井内突出し	
1) 天井内こうがし配線において下記部分については電線管保護とする		
貫通及び壁内部	: PF管	
配線凡例	配線内容	保護管
1	EM-E8T0.5-2P	φ16×1部
2	EM-FPEES0.65-1P	(PF16)
3	EM-AE1.2-2C	(PF16)
4	EM-AE1.2-3C	(PF16)
5	EM-SSG-FB	(PF16)
6	導入線	(PF16)
22	導入線	(PF22)
2. 防火区画等の貫通箇所は国土交通大臣認定の資材(1時間耐火)により適正処理の事。		

件 名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図 名	1・2階平面図 構内情報通信網・構内交換・テレビ共同受信設備
縮 尺	1/100(A1) , 1/200(A3)
日 付	2025/12(令和7年)



凡 例			
設備区分	図示記号	名 称	備 考
扩 声	■	非常放送リモコン(4)	5局
	■	カセットレーベル	
	●	SC4Hi-1(3) V0	L級
	●	SC4Hi-1(3) V3	L級
	●	SW1Hi-1(3) V3	L級
	▲	アコステーター	1W
	▲	アコステーター	5W

特記事項		
1. 記入なき配線は下記による		
----- 二重天井内ころがし配線		
I) 天井内ころがし配線において下記部分については電線管保護とする		
貢通及び壁内部	: PF管	
配線凡例	配線内容	保護管
■	EM-HP1.2-2C	(PF16)
■	EM-HP1.2-3C	(PF16)



凡例									
記号	名	称	備	考	記号	名	称	備	考
[Symbol: Fire pump]	副受信機	液晶表示 壁掛型 AC100V仕様			[Symbol: Smoke detector]	光電アナログ式スポット型感知器	1~3種レベル 露出型		
[Symbol: Fire pump]	防災中継器	壁掛型 AC100V仕様			[Symbol: Smoke detector]	オムニピューブル・自動感度補正			
[Symbol: Fire pump]	副受信機	中継器5個収納型 壁掛型			[Symbol: Smoke detector]	光電アナログ式スポット型感知器	1~3種レベル 埋込型		
[Symbol: Fire pump]	副受信機	表示灯付受信機(アラーム付)組込			[Symbol: Smoke detector]	オムニピューブル・自動感度補正			
[Symbol: Fire pump]	火災通報専用電話機	壁掛型 (本館通報装置へ接続)			[Symbol: Smoke detector]	熱アナログ式感知器	防水・露出型		
					[Symbol: Smoke detector]	オムニピューブル・自動感度補正			
					[Symbol: Smoke detector]	アラーム弁	機器別途・接続のみ		
					[Symbol: Smoke detector]	自動閉鎖装置	防煙垂れ壁		
					[Symbol: Smoke detector]	警戒区域番号	自火報用		
					[Symbol: Smoke detector]	警戒区域番号	受信機用		
					[Symbol: Smoke detector]	警戒区域番号	アラーム弁用		
					[Symbol: Smoke detector]	警戒区域番号	防煙垂れ用		

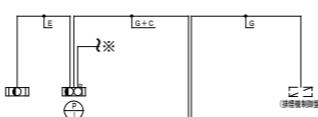
特記事項		
1) 記入なき配線は下記による		
--- 二重天井内こらがし配線		
1) 天井内こらがし配線において下記部分については電線管保護とする		
貢通及び壁内部 : 呼音		
記線例	配線内容	保護管
[Symbol: Pipe]	EM-HP1.2-2C (PF16)	△PE部
[Symbol: Pipe]	EM-HP1.2-3C (PF16)	

2. 防火区画等の貫通箇所は国土交通大臣認定の資材(1時間耐火)により適正処理の事。

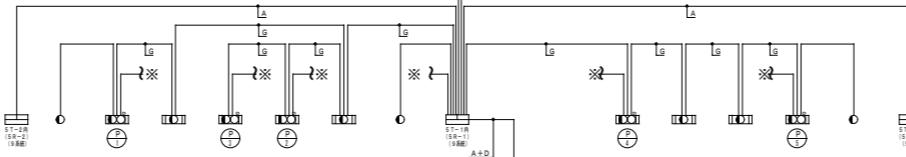
記号	使用配線内訳
A	EM-HPS1. 2-1P EM-HP1. 2-10P
B	EM-HPS1. 2-2P EM-HP1. 2-3P
C	EM-HP1. 2-1P
D	EM-HP1. 2-2C
E	EM-HP1. 2-4C
F	EM-HP1. 2-3P
G	EM-HP1. 2-5P
H	EM-HP1. 2-10P

注1) 機器収容箱及び中継器盤からの※印は直近のアナログ式感知器への接続を示す。

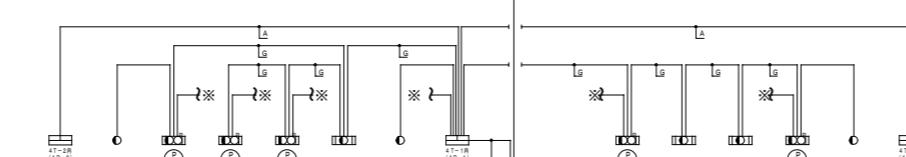
6階



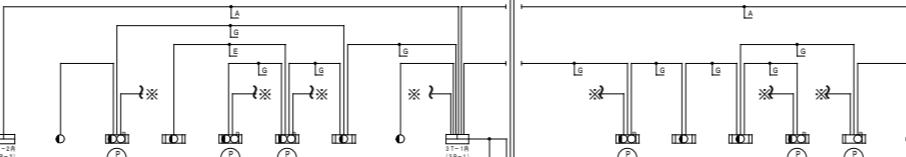
5階



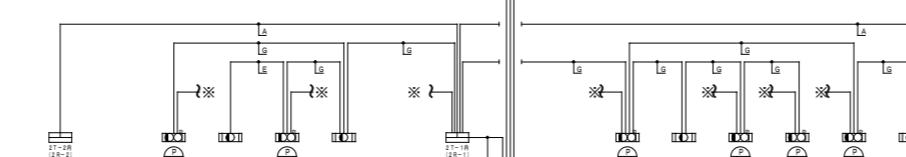
4階



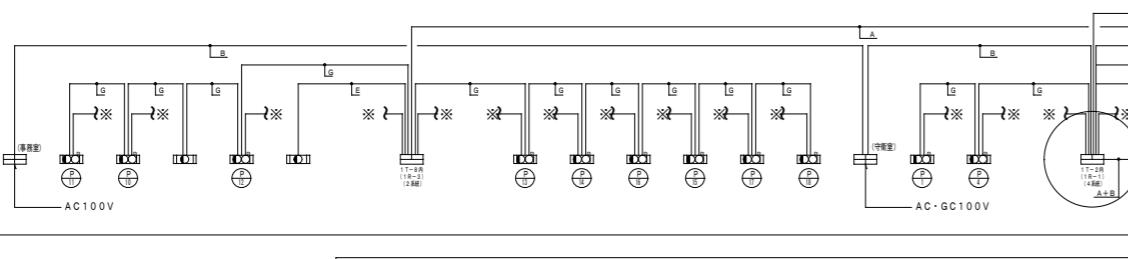
3階



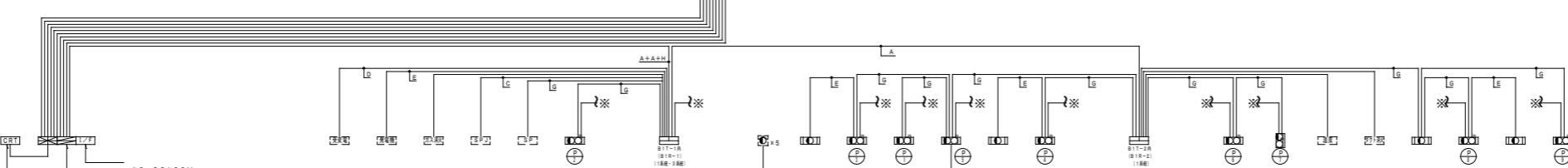
2階



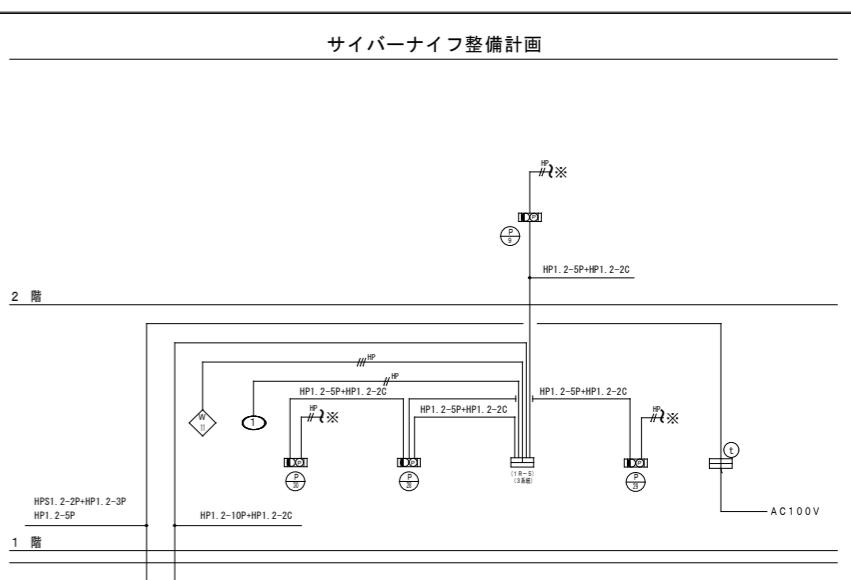
1階



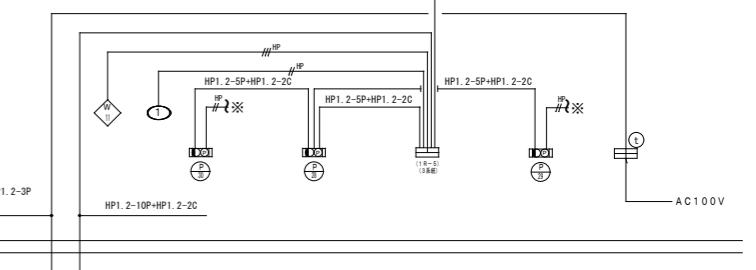
地下1階



免震ピット

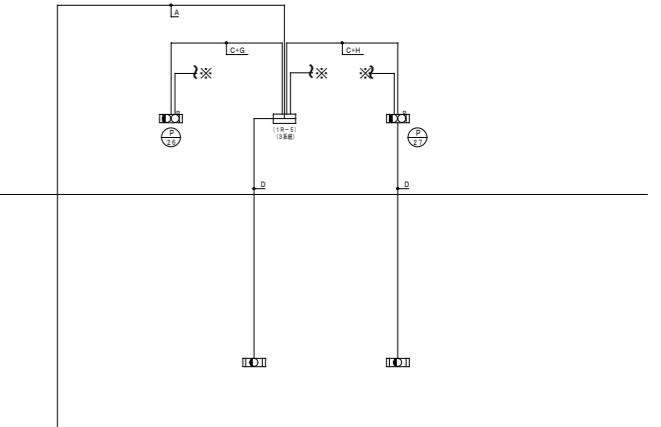


2階

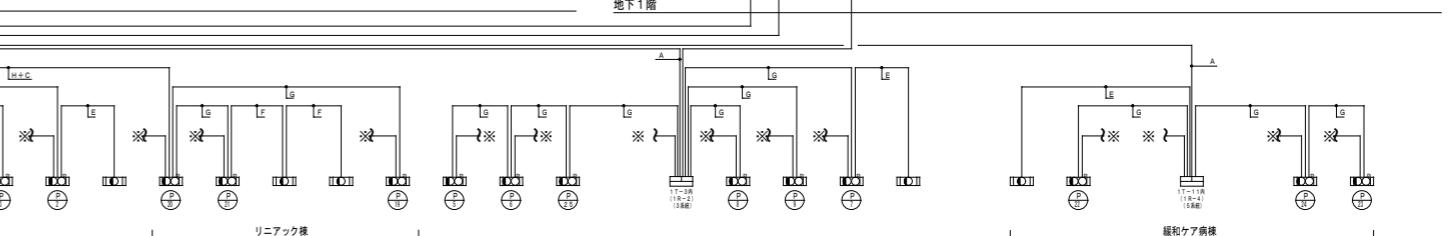


1階

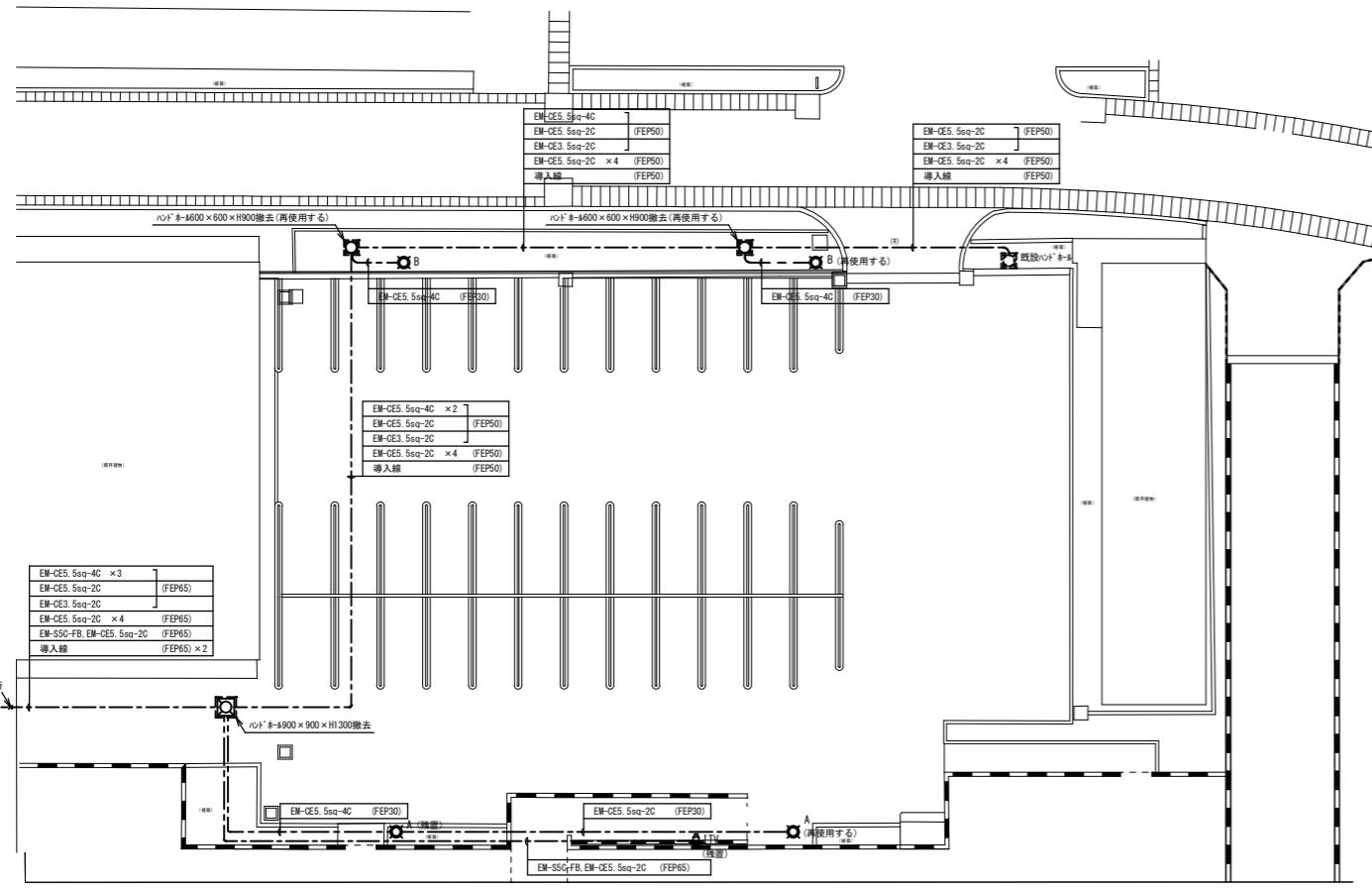
1階



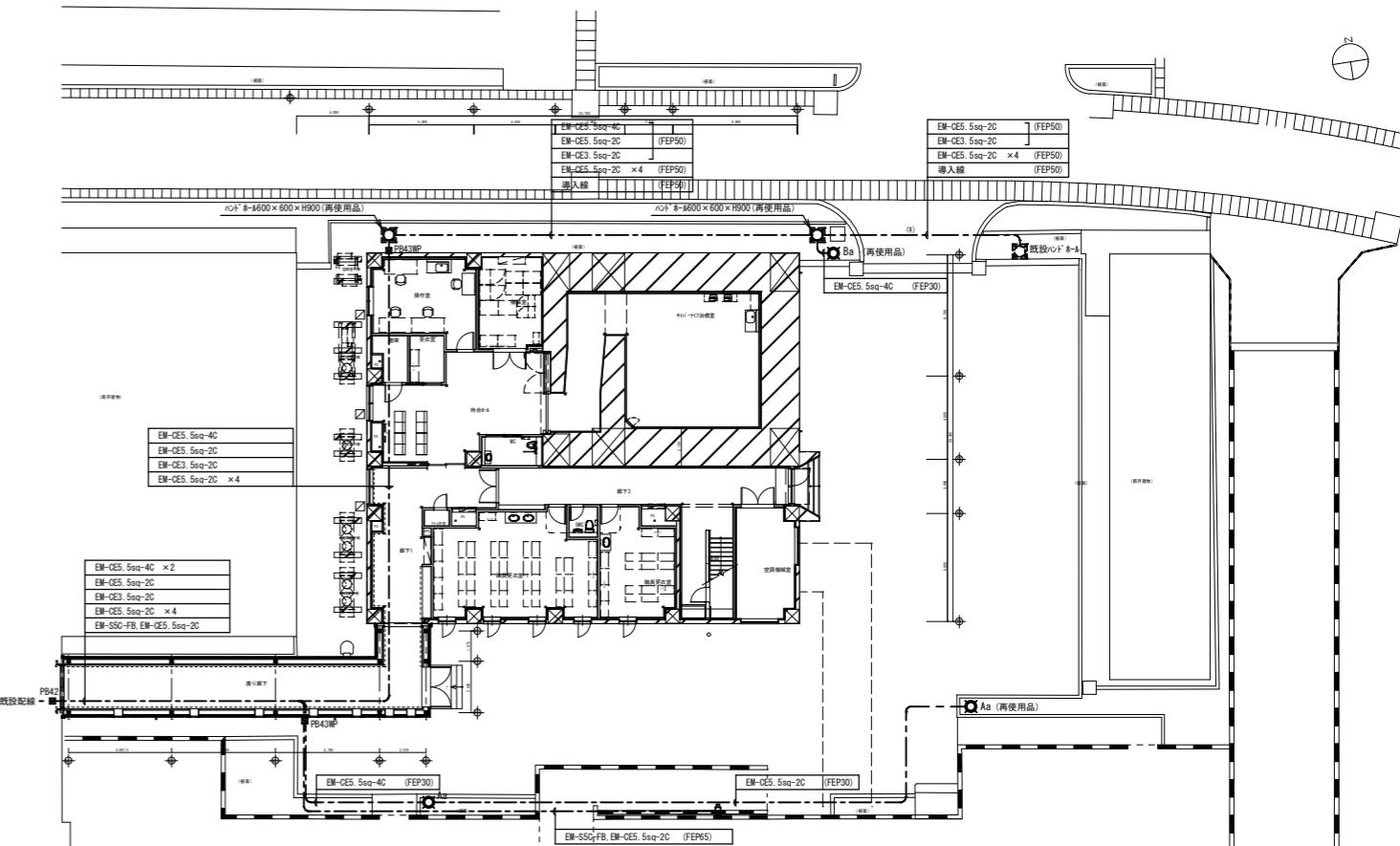
地下1階



件名 岩手県立中部病院サイバーナイフ棟整備工事	
図名 自動火災報知設備系統図	
縮尺 ----- (A1) , ----- (A3)	電気
日付 2025/12(令和7年)	E125



外構撤去図 1/200 (A1)・1/400 (A2)



外構新設図 1/200 (A1)・1/400 (A3)

外灯改修前

<input checked="" type="checkbox"/> A	HQ1250W × 1	灯具部分、安定器撤去
<input type="checkbox"/> B	HQ1250W × 2	灯具部分、安定器撤去

5100

1000

750

コンクリート基盤
600 x 600 x 1400
接地工事ID IES.5sq

外灯改修用	
<input checked="" type="checkbox"/> Aa	LED56W × 1 灯具部(AD-2914-N相当品)
<input checked="" type="checkbox"/> Bb	LED112W × 2 灯具部(AD-2915-N相当品)

コンクリート基礎
600×600×1400
接地工事回 IES. 5sq